Canon

Macintosh用LIPS LXプリンタドライバ　オンラインマニュアル

ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

本書の構成について

目次

第３章　基本的な印刷機能

第４章　便利な印刷機能

第 5 章　印刷品質の設定

第 6 章　困ったときには

第 7 章　付録

はじめに

このたびはキヤノン製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただきました後も大切に保管してください。

本書の読みかた

マークについて

本書では、操作上必ず守っていただきたい事項や操作の説明に、下記のマークを付けています。

重要　操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。

メモ　操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

キー・ボタンの表記について

本書では、キー・ボタン名称を以下のように表しています。

- プリンタ上のキー：[キー名称]

例：[オンライン]

- コンピュータ画面上のボタン：[ボタン名称]

例：[OK]
　　[設定]

画面について

本書で使われているコンピュータ操作画面は、お使いの環境によって表示が異なる場合があります。

操作時にクリックするボタンの場所は、（丸）で囲んで表しています。また、操作を行うボタンが複数表示されている場合は、それらをすべて囲んでいます。

略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

imagePRESS C7000VP：	iPR C7000VP
imagePRESS C1：	iPR C1
iR C6880 または iR C6880N：	iR C6880
iR C6870 または iR C6870N：	iR C6870
iR C5880 または iR C5880N：	iR C5880
iR C5870 または iR C5870N：	iR C5870
iR C5185 または iR C5185N：	iR C5185
iR C5180 または iR C5180N：	iR C5180
iR C4580 または iR C4580F：	iR C4580
iR C3880 または iR C3880F：	iR C3880
iR C3380 または iR C3380F：	iR C3380
iR C3170 または iR C3170F：	iR C3170
iR C2880 または iR C2880F：	iR C2880
iR C2570 または iR C2570F：	iR C2570
iR7105i または iR7105B：	iR7105
iR7086N または iR7086B：	iR7086
iR6570 または iR6570N：	iR6570
iR5570 または iR5570N：	iR5570
iR5065 または iR5065N：	iR5065
iR5055 または iR5055N：	iR5055
iR4570 または iR4570F：	iR4570
iR3570 または iR3570F：	iR3570
iR3045 または iR3045F：	iR3045
iR3035 または iR3035F：	iR3035
iR3025 または iR3025F：	iR3025
iR2870 または iR2870F：	iR2870
iR2270 または iR2270F：	iR2270
iR2230 または iR2230F：	iR2230
LBP5910 または LBP5910F：	LBP5910
LBP5910M または LBP5910MF：	LBP5910M

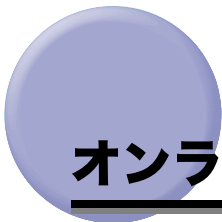
商標について

Apple、AppleTalk、ColorSync、Mac、Mac OS、Macintosh は、米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

1
CHAPTER

ご使用の前に

オンラインマニュアルの使いかたなどについて説明しています。

オンラインマニュアルの使いかた

本オンラインマニュアルでは、Macintosh 用のプリンタドライバの使いかたについて説明しています。本オンラインマニュアルをよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、本オンラインマニュアルの使いかたについては、[しおり] メニューの [オンラインマニュアルの使いかた]を選択すると、「オンラインマニュアルの使いかた」が表示されます。
使用している Mac OS のバージョンにより、ダイアログの表示が若干異なる場合があります。
本オンラインマニュアル中の画面は、実際の画面と異なる場合があります。
PDF 形式のオンラインマニュアルは、次の方法でご利用いただけます。

画面上で参照する場合

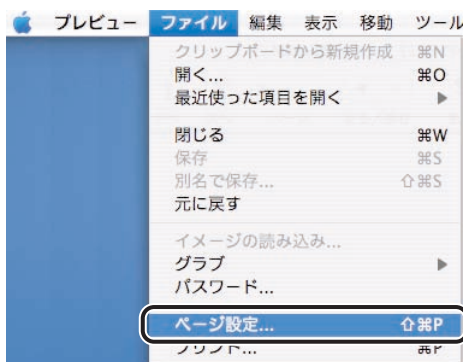
1 **[しおり] メニューから参照するトピックを選択します。**

選択したトピックに関する説明が表示されます。

2 **オンラインマニュアルを終了するときは、[ファイル] メニューの [閉じる] を選択します。**

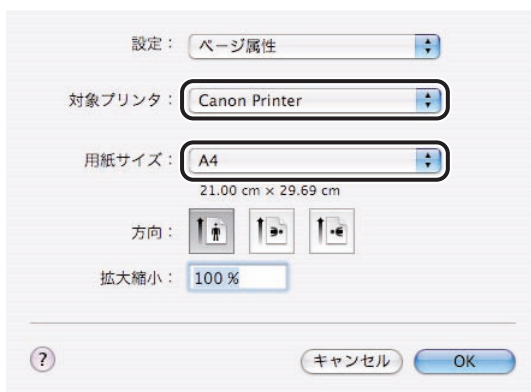
印刷してから参照する場合

1 **オンラインマニュアルを表示します。**

2 ［ファイル］メニューから［ページ設定］（または［用紙設定］）を選択します。

［ページ設定］（または［用紙設定］）ダイアログが表示されます。

3 ［ページ設定］（または［用紙設定］）ダイアログで、［ページ属性］パネルを選択します。

［ページ属性］パネルが表示されます。

4 必要な項目を設定します。

設定項目は、以下のとおりです。

［対象プリンタ］：印刷するプリンタ

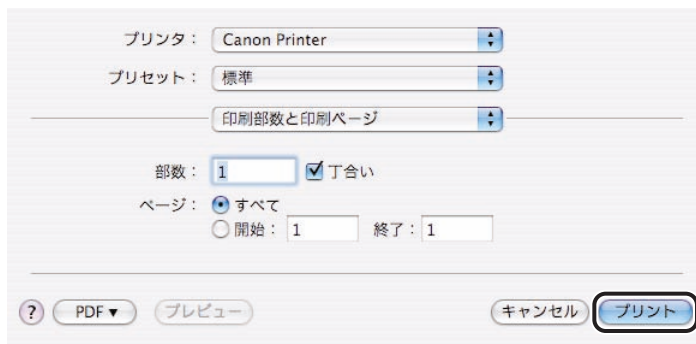
［用紙サイズ］：A4

メモ　A4 サイズ以外の用紙に印刷すると、文字やイラストが欠けて印刷されることがあります。

5 **［ページ設定］（または［用紙設定］）ダイアログの［OK］をクリックします。**

6 **［ファイルメニュー］の［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

7 **［プリント］をクリックします。**

8 **オンラインマニュアルを終了するときは、［ファイル］メニューの［閉じる］を選択します。**

1
ご使用の前に

印刷するときに必要な作業

Macintosh から印刷するときに必要な作業は、以下のとおりです。

プリンタを設置したあとに行う作業

■ **プリンタドライバをインストールする（→第2章：プリンタドライバをインストールする）**
プリンタドライバは、アプリケーションソフトウェアから印刷するときに必要なソフトウェアです。プリンタドライバで、印刷に関する設定を行います。プリンタに発生したエラーや、プリンタに関する情報を取得するためのソフトウェア「プリントモニタ」もインストールされます。

■ **使用するプリンタをコンピュータに登録する（→第２章：使用するプリンタをコンピュータに登録する）**
プリンタドライバをインストールしたあと、使用するプリンタの機種と接続方法をコンピュータに登録します。

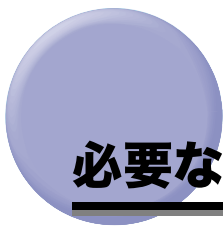
印刷のたびに行う作業

■ **印刷する（→第２章：印刷する）**
アプリケーションソフトウェアからプリントメニューを開き、登録したプリンタを選択します。印刷部数などの設定を行い、印刷します。

2
CHAPTER

プリンタドライバの概要

LIPS LX プリンタドライバの概要について説明しています。

必要なシステム環境

Macintosh 用 LIPS LX プリンタドライバを利用するには、次のシステム環境が必要です。

- OS
  - ・Mac OS X（10.2.8 以降）
- コンピュータ／メモリ
  - ・上記 OS が動作する環境

重要

- Mac OS X Classicをお使いの場合は、Macintosh用LIPS IVプリンタドライバをご利用ください。
- 日本語以外の OS には対応していません。

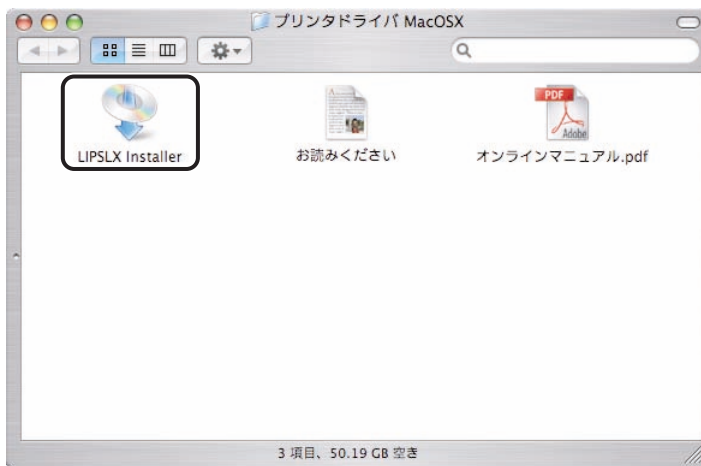
プリンタドライバをインストールする

初めてプリンタを使用するときには、プリンタドライバのインストールが必要です。以下の手順に従って、インストールしてください。

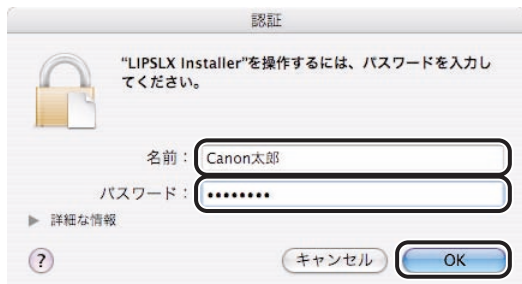
重要
- インストール前に、他のアプリケーションソフトウェアをすべて終了してください。
- インストール前に、古いバージョンのプリンタドライバをアンインストールしてください。（→ P.2-7）

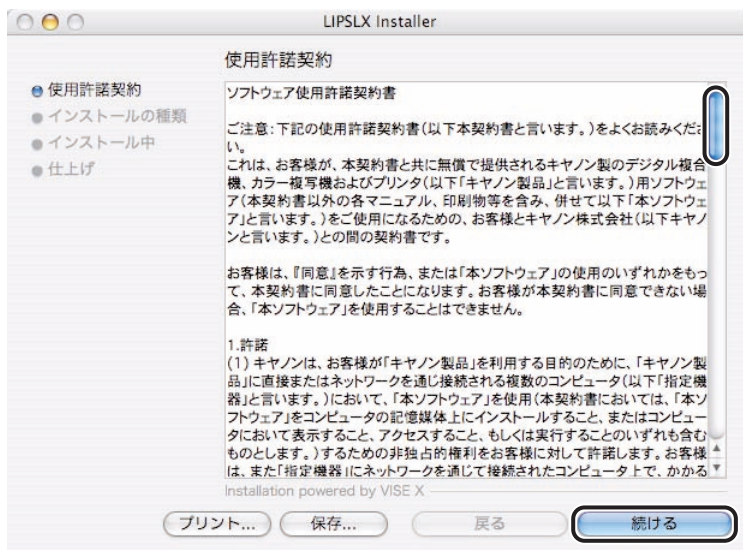
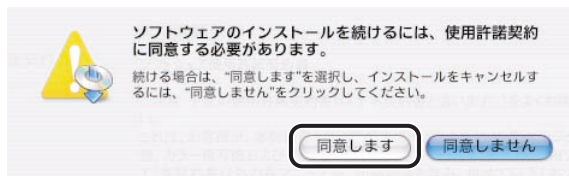
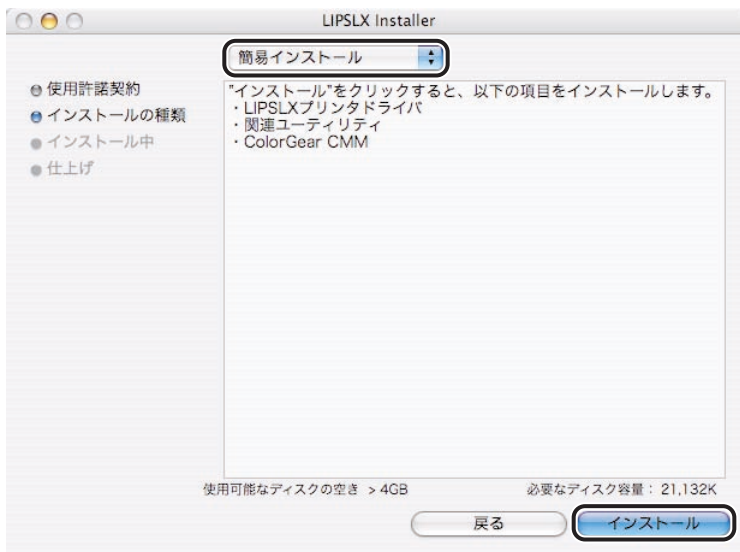
1 ［LIPSLX］フォルダー［プリンタドライバ MacOSX］フォルダを開きます。

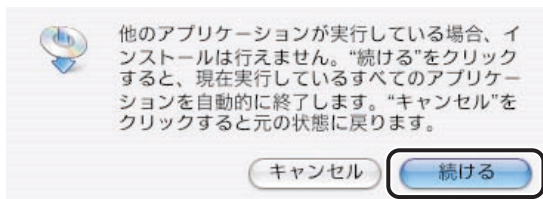
メモ　お使いの機種によって、フォルダ構成が異なることがあります。

2 ［LIPSLX Installer］アイコンをダブルクリックします。

［認証］ダイアログが表示されます。

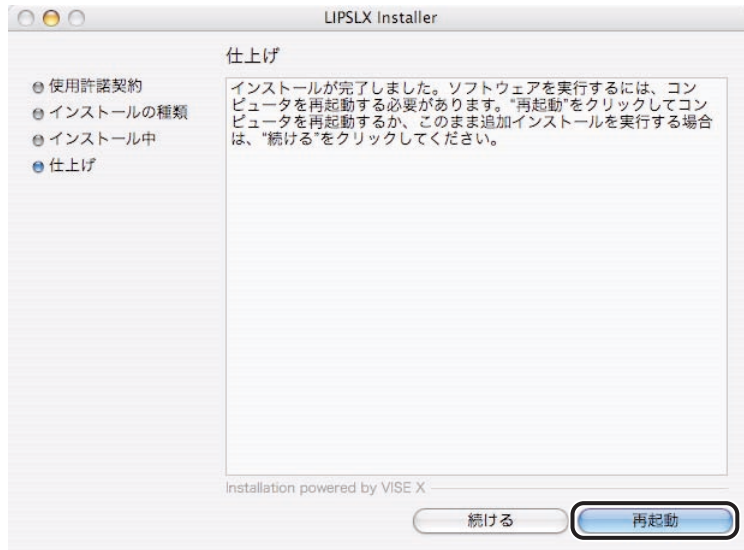
メモ　お使いの環境によっては、［認証］ダイアログが表示されない場合があります。その場合は、手順 4 へ進んでください。

3 管理者の名前とパスワードを入力したあと、[OK]をクリックします。

インストーラが起動して、使用許諾契約書が画面に表示されます。

4 スクロールを下まで移動して内容を確認したあと、[続ける]をクリックします。

5 [同意します]をクリックします。

6 [簡易インストール］が選択されていることを確認したあと、[インストール］をクリックします。

メモ　［カスタムインストール］を選択すると、インストールする項目を選択できます。

7 メッセージが表示されたら、[続ける］をクリックします。

インストールが開始されます。

メモ　プリンタのユーティリティソフトウェア「プリンタモニタ」も、同時にインストールされます。

8 インストールが完了してメッセージが表示されたら、［再起動］をクリックして、コンピュータを再起動します。

コンピュータが再起動します。

以上でインストールの作業が終了しました。引き続き、「使用するプリンタをコンピュータに登録する」（→ P.2-11）でプリンタを登録してください。

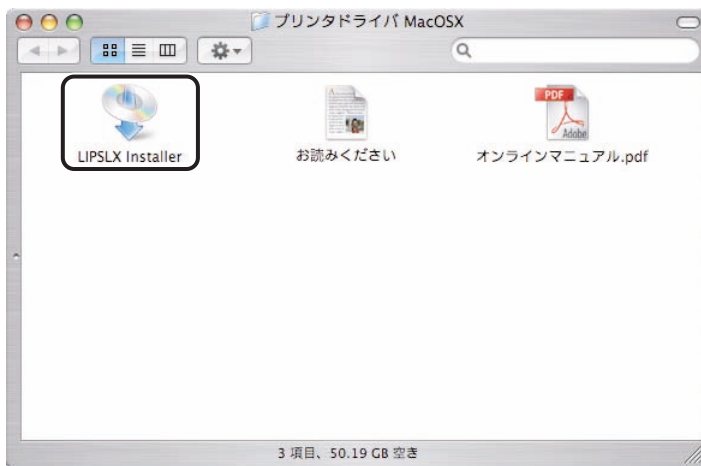
プリンタドライバをアンインストールする

プリンタドライバが不要になった場合は、以下の手順でアンインストールを行います。

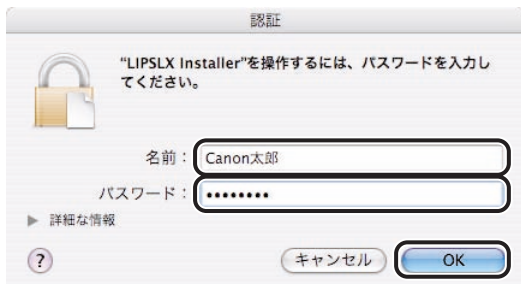
1 すべてのアプリケーションソフトウェアを終了します。

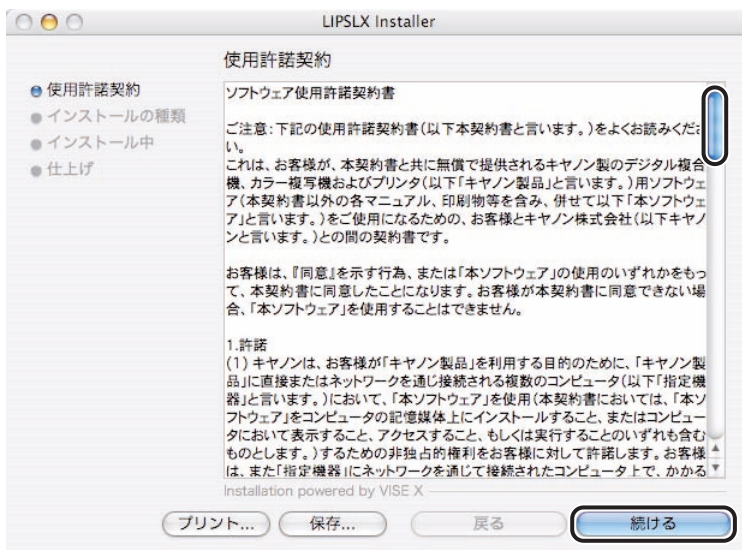
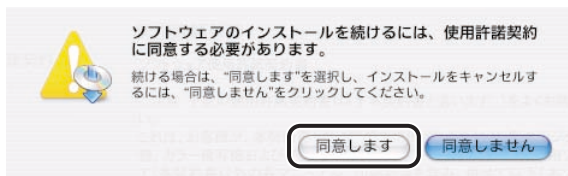
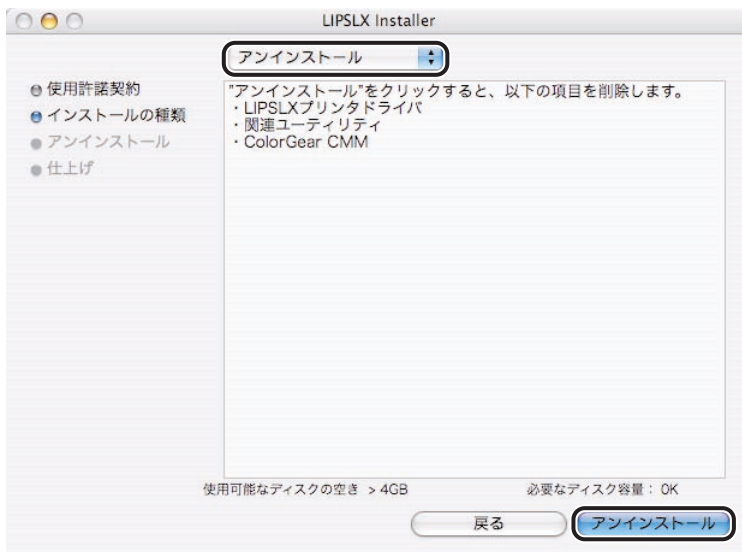
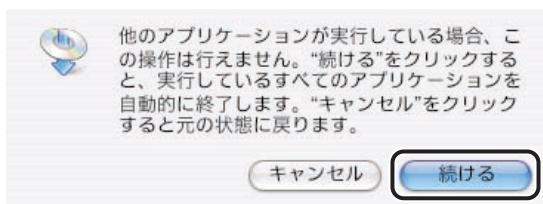
2 [LIPSLX] フォルダー [プリンタドライバ MacOSX] フォルダを開きます。

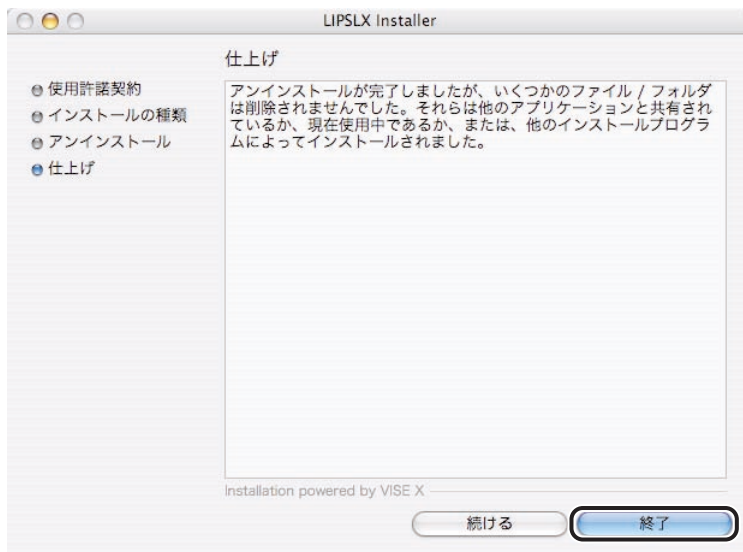
メモ　お使いの機種によって、フォルダ構成が異なることがあります。

3 [LIPSLX Installer] アイコンをダブルクリックします。

[認証] ダイアログが表示されます。

メモ　お使いの環境によっては、[認証] ダイアログが表示されない場合があります。その場合は、手順 5 へ進んでください。

4 管理者の名前とパスワードを入力したあと、[OK]をクリックします。

インストーラが起動して、使用許諾契約書が画面に表示されます。

5 スクロールを下まで移動して内容を確認したあと、[続ける]をクリックします。

6 [同意します]をクリックします。

7 ［アンインストール］を選択したあと、［アンインストール］をクリックします。

8 メッセージが表示されたら、［続ける］をクリックします。

アンインストールが開始されます。

9 **アンインストールが完了してメッセージが表示されたら、［終了］をクリックします。**

以上でプリンタドライバのアンインストールが終了しました。

使用するプリンタをコンピュータに登録する

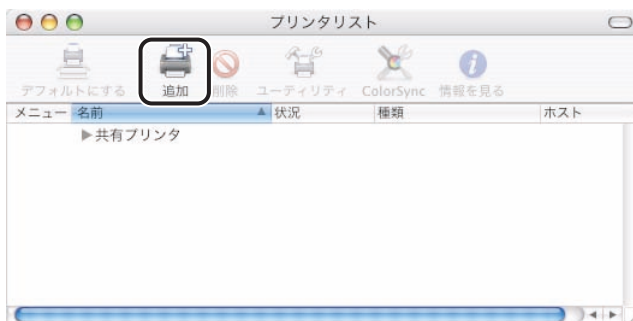
プリンタドライバをインストールしたら、使用するプリンタをコンピュータに登録します。

USB 接続の場合

Mac OS X 10.2.8 ～ 10.3.9 の場合

1 お使いのハードディスクの［アプリケーション］－［ユーティリティ］フォルダにある、［プリンタ設定ユーティリティ］アイコンをダブルクリックします。

［プリンタリスト］ダイアログが表示されます。

メモ　Mac OS X 10.2.8 をお使いの場合は、［プリンタセンター］アイコンをダブルクリックしてください。

2 ［追加］をクリックします。

メモ　［プリンタリスト］ダイアログの画面は、Mac OS X のバージョンによって異なります。

3 [USB] を選択します。

4 プリンタリストの一覧からお使いのプリンタを選択したあと、[追加] をクリックします。

Mac OS X 10.3 以降をお使いの場合は、お使いのプリンタを選択したあとに、[プリンタの機種] で [LIPSLX Printer] を選択してから [追加] をクリックしてください。

Mac OS X 10.2.8 をお使いの場合は、[種類] が [LIPSLX Printer] と表示されているプリンタを選択してください。それ以外のプリンタは、選択しないでください。

メモ
プリンタ名が表示されないときは、プリンタがお使いのコンピュータと USB ケーブルで接続されていて、電源が入っていることを確認してください。

5 [プリンタリスト] ダイアログにプリンタが追加されていることを確認したあと、[プリンタリスト] ダイアログを閉じます。

メモ
[プリンタリスト] ダイアログにお使いの機種名が表示されない場合は、[Canon Color Printer LIPS LX]（カラープリンタの場合）／ [Canon Printer LIPS LX]（モノクロプリンタの場合）と表示されます。

Mac OS X 10.4 以降の場合

1 **［システム環境設定］を開いて、［プリントとファクス］をクリックします。**

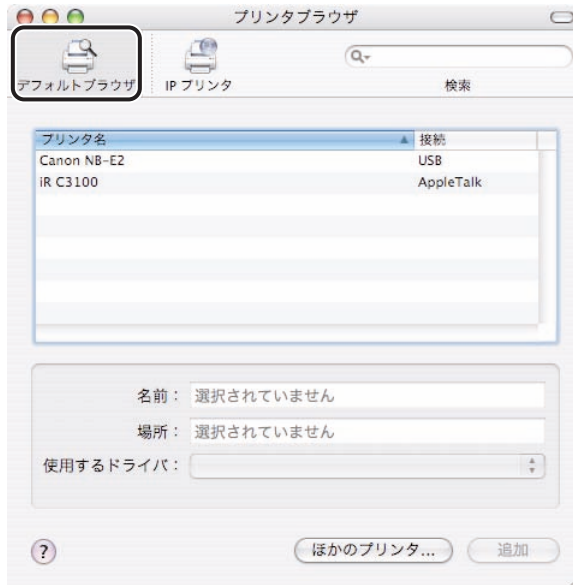
［プリントとファクス］ダイアログが表示されます。

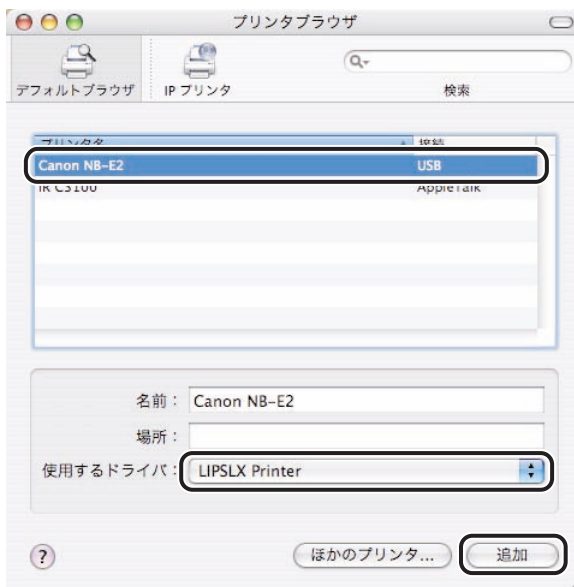
メモ　Mac OS X 10.4.x をお使いの場合は、［プリントとファクス］ダイアログの［プリント］をクリックして、［プリント］パネルを表示します。

2 **［+］をクリックします。**

［プリンタブラウザ］ダイアログが表示されます。

3 ［デフォルトブラウザ］をクリックします。

Mac OS X 10.5.x をお使いの場合は、［デフォルト］をクリックします。

メモ　OS のバージョンによって、画面の表示は異なります。

4 プリンタ名の一覧からお使いのプリンタを選択したあと、［使用するドライバ］（または［ドライバ］）で［LIPSLX Printer］を選択して、［追加］をクリックします。

［接続］が［USB］と表示されているプリンタを選択してください。

メモ　プリンタ名が表示されないときは、プリンタがお使いのコンピュータと USB ケーブルで接続されていて、電源が入っていることを確認してください。

5 ［プリントとファクス］ダイアログのプリンタ名の一覧にプリンタが追加されていることを確認したあと、［プリントとファクス］ダイアログを閉じます。

メモ
- Mac OS X 10.4.x をお使いの場合は、［プリントとファクス］ダイアログの［プリント］パネルで、プリンタ名の一覧にプリンタが追加されていることを確認してください。
- お使いの機種名が表示されない場合は、［Canon Color Printer LIPS LX］（カラープリンタの場合）／［Canon Printer LIPS LX］（モノクロプリンタの場合）と表示されます。

AppleTalk 接続の場合

Mac OS X 10.2.8 ～ 10.3.9 の場合

1 **お使いのハードディスクの［アプリケーション］－［ユーティリティ］フォルダにある、［プリンタ設定ユーティリティ］アイコンをダブルクリックします。**

［プリンタリスト］ダイアログが表示されます。

メモ　Mac OS X 10.2.8 をお使いの場合は、［プリントセンター］アイコンをダブルクリックしてください。

2 **［追加］をクリックします。**

メモ　［プリンタリスト］ダイアログの画面は、Mac OS X のバージョンによって異なります。

3 **［AppleTalk］を選択します。**

4 プリンタリストの一覧からお使いのプリンタを選択したあと、[追加]をクリックします。

[種類]が[LIPSLX Printer]と表示されているプリンタを選択してください。それ以外のプリンタは、選択しないでください。

メモ　プリンタ名が表示されないときは、プリンタが AppleTalk ネットワークに接続されていて、電源が入っていることを確認してください。

5 [プリンタリスト]ダイアログにプリンタが追加されていることを確認したあと、[プリンタリスト]ダイアログを閉じます。

メモ　[プリンタリスト]ダイアログにお使いの機種名が表示されない場合は、[Canon Color Printer LIPS LX](カラープリンタの場合)／[Canon Printer LIPS LX](モノクロプリンタの場合)と表示されます。

Mac OS X 10.4 以降の場合

1 **［システム環境設定］を開いて、［プリントとファクス］をクリックします。**

［プリントとファクス］ダイアログが表示されます。

メモ

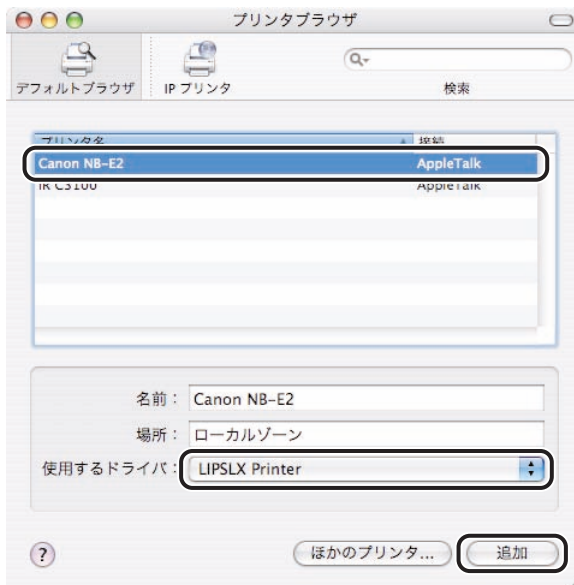
Mac OS X 10.4.x をお使いの場合は、［プリントとファクス］ダイアログの［プリント］をクリックして、［プリント］パネルを表示します。

2 **［+］をクリックします。**

［プリンタブラウザ］ダイアログが表示されます。

3 **［デフォルトブラウザ］をクリックします。**

Mac OS X 10.5.x をお使いの場合は、［デフォルト］をクリックします。

4 プリンタ名の一覧からお使いのプリンタを選択したあと、[使用するドライバ]（または［ドライバ]）で［LIPSLX Printer］を選択して、[追加］をクリックします。

［接続］が［AppleTalk］と表示されているプリンタを選択してください。

メモ

- プリンタ名が表示されないときは、プリンタが AppleTalk ネットワークに接続されていて、電源が入っていることを確認してください。
- お使いのゾーンのプリンタが一覧に表示されない場合は、以下の操作を行ってください。
  - ・Mac OS X 10.4.x をお使いのときは、[ほかのプリンタ］をクリックして表示されたダイアログのポップアップメニューから［AppleTalk］を選択して、お使いのゾーンを選択してください。
  - ・Mac OS X 10.5.x をお使いのときは、[AppleTalk］をクリックして、お使いのゾーンを選択してください。

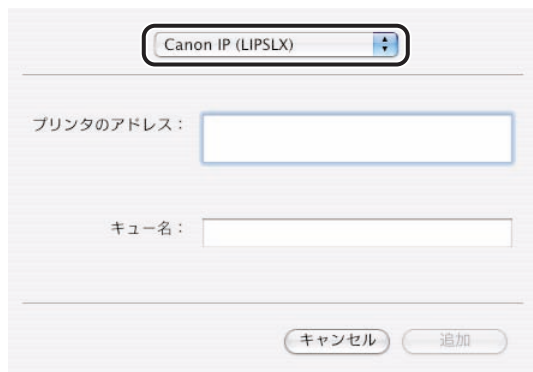
5 ［プリントとファクス］ダイアログのプリンタ名の一覧にプリンタが追加されていることを確認したあと、[プリントとファクス］ダイアログを閉じます。

メモ

- Mac OS X 10.4.x をお使いの場合は、[プリントとファクス］ダイアログの［プリント］パネルで、プリンタ名の一覧にプリンタが追加されていることを確認してください。
- お使いの機種名が表示されない場合は、[Canon Color Printer LIPS LX]（カラープリンタの場合）／［Canon Printer LIPS LX］（モノクロプリンタの場合）と表示されます。

IP 接続の場合

Mac OS X 10.2.8 ～ 10.3.9 の場合

1 **お使いのハードディスクの［アプリケーション］－［ユーティリティ］フォルダにある、［プリンタ設定ユーティリティ］アイコンをダブルクリックします。**

［プリンタリスト］ダイアログが表示されます。

メモ　Mac OS X 10.2.8 をお使いの場合は、［プリントセンター］アイコンをダブルクリックしてください。

2 **［追加］をクリックします。**

メモ　［プリンタリスト］ダイアログの画面は、Mac OS X のバージョンによって異なります。

3 **［Canon IP (LIPSLX)］を選択します。**

4 **［プリンタのアドレス］に、お使いのプリンタの IP アドレス、または DNS 名称を入力します。**

メモ　IP アドレスをプリンタの名称に使用する場合は、［キュー名］は空白のままにしてください。

5 **［追加］をクリックします。**

6 ［プリンタリスト］ダイアログにプリンタが追加されていることを確認したあと、［プリンタリスト］ダイアログを閉じます。

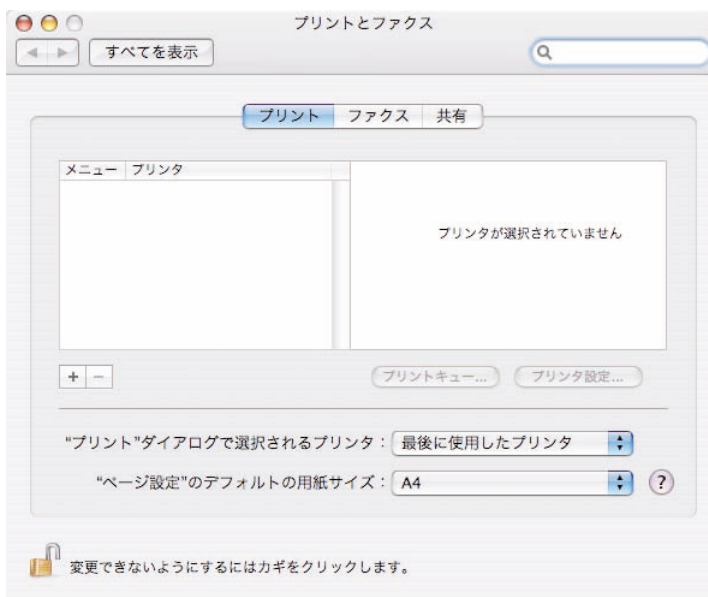
メモ

- プリンタが追加できないときは、プリンタがネットワークに接続されていて、電源が入っていることを確認してください。
- ［プリンタリスト］ダイアログにお使いの機種名が表示されない場合は、［Canon Color Printer LIPS LX］（カラープリンタの場合）／［Canon Printer LIPS LX］（モノクロプリンタの場合）と表示されます。

Mac OS X 10.4 以降の場合

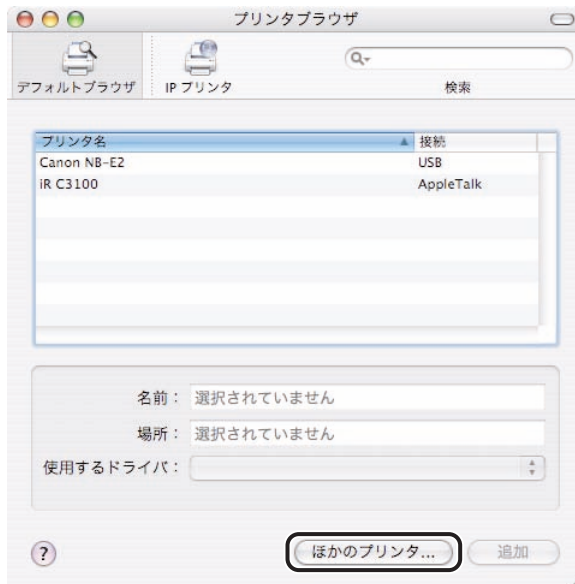
1 ［システム環境設定］を開いて、［プリントとファクス］をクリックします。

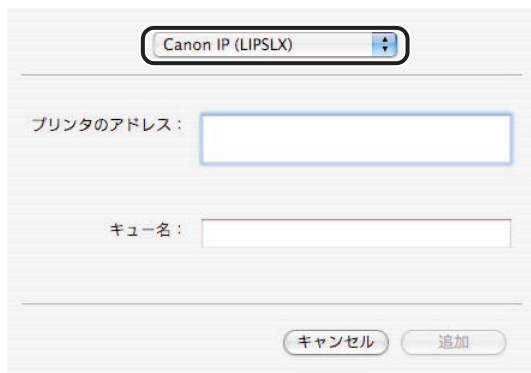
［プリントとファクス］ダイアログが表示されます。

メモ

Mac OS X 10.4.x をお使いの場合は、［プリントとファクス］ダイアログの［プリント］をクリックして、［プリント］パネルを表示します。

2 ［+］をクリックします。

［プリンタブラウザ］ダイアログが表示されます。

3 ［ほかのプリンタ］をクリックします。

メモ　OS のバージョンによって、画面の表示は異なります。

4 ［Canon IP (LIPSLX)］を選択します。

5 ［プリンタのアドレス］に、お使いのプリンタの IP アドレス、または DNS 名称を入力します。

メモ　IP アドレスをプリンタの名称に使用する場合は、［キュー名］は空白のままにしておいてください。

6 ［追加］をクリックします。

7 ［プリントとファクス］ダイアログのプリンタ名の一覧にプリンタが追加されていることを確認したあと、［プリントとファクス］ダイアログを閉じます。

メモ

- Mac OS X 10.4.x をお使いの場合は、［プリントとファクス］ダイアログの［プリント］パネルで、プリンタ名の一覧にプリンタが追加されていることを確認してください。
- プリンタが追加できないときは、プリンタがネットワークに接続されていて、電源が入っていることを確認してください。
- お使いの機種名が表示されない場合は、［Canon Color Printer LIPS LX］（カラープリンタの場合）／［Canon Printer LIPS LX］（モノクロプリンタの場合）と表示されます。

以上で Macintosh から印刷する準備が終了しました。

プリンタの情報を確認する

初めてプリンタドライバを使用するときや、プリンタの構成を変更したときは、プリンタの情報を確認します。
プリンタの機種名、プリンタのパネルに表示されているメッセージ、プリンタにセットされているオプション、排紙情報、カセットの用紙残量を含む給紙情報など、プリンタについての情報を確認することができます。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログで、パネルを選択します。**

以下から選択します。

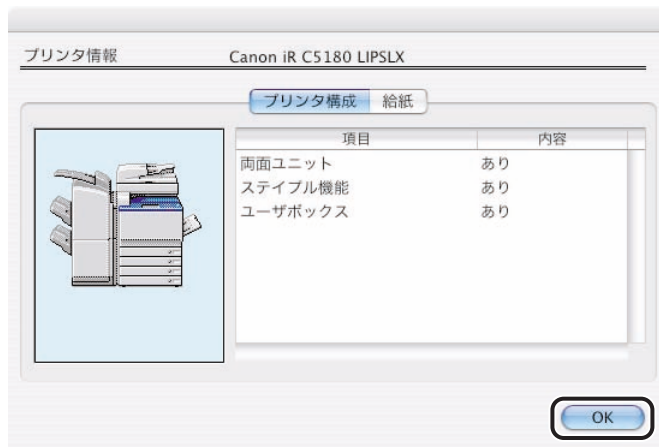
- ［仕上げ］パネル
- ［給紙］パネル
- ［印刷品質］パネル
- ［特別処理］パネル

3 **［プリンタ情報］をクリックします。**

［プリンタ情報］ダイアログが表示されます。

メモ　［プリンタ情報］ダイアログが表示されない場合は、プリンタがお使いのコンピュータとUSB ケーブルで接続されていて、電源が入っていることを確認してください。

4 プリンタの情報を確認したあと、[OK]をクリックします。

2

プリンタドライバの概要

ColorSync を設定する（プロファイルの設定）

カラー（モノクロ印刷の場合は、グレースケール）を調整する前に、ColorSync の設定を行ってください。ColorSync は、マッチング（印刷仕上がりの色を一致させる）のためのソフトウェアです。この設定を行わないと、画面の色みと印刷結果の色みが大きく異なる場合があります。

メモ

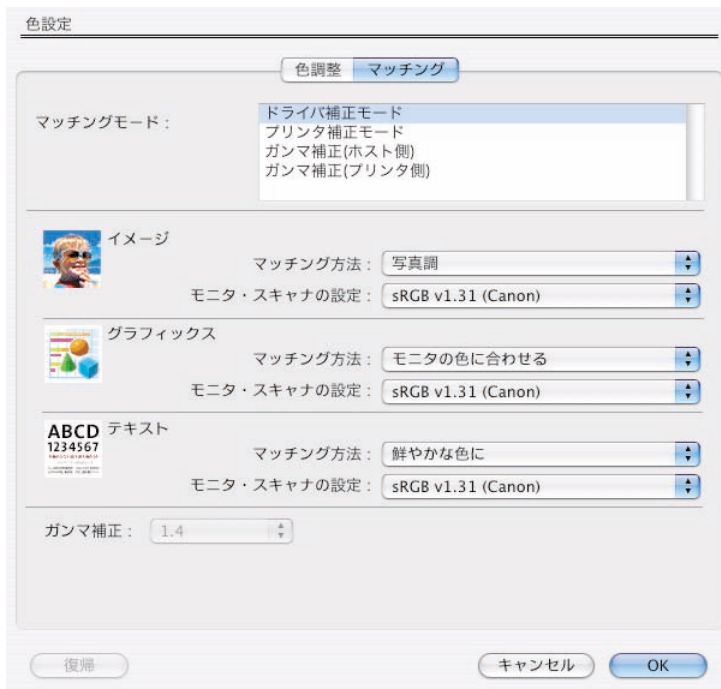
- 印刷先の設定を行うときに、プリンタ名が［Canon Color Printer LIPS LX］または［Canon Printer LIPS LX］と表示されていたプリンタは、本項目の設定を行うことができません。
- ColorSync の設定は、印刷するファイルごとに行う必要があります。
- ColorSync の古いバージョンと新しいバージョンが、システムフォルダに混在していないことを確認してください。ColorSync は Apple 社製のカラーマネジメントシステムです。なお、ColorSync のバージョンにより、下記の手順と異なる場合があります。
- Mac OS での ColorSync の設定は、印刷結果には反映されません。下記の手順でプリンタドライバで設定してください。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログで、［印刷品質］パネルを選択します。**

［印刷品質］パネルが表示されます。

3 [色設定]をクリックして、[マッチング]シートを表示します。

4 [マッチング]シートで、お使いのディスプレイのガンマ値にあった設定を選択します。

最適な色を再現するように調整されたプロファイルが用意されています。通常は、以下の中から選択します。お使いのディスプレイによっては、他のプロファイルのほうが画面表示に近い色になることもありますが、以下のプロファイルを選ぶほうがより美しい色で印刷できます。

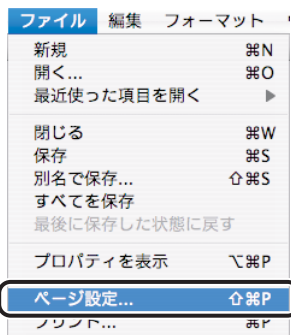
ディスプレイ	プリンタ
sRGB v1.31（Canon）	カラープリンタ
Canon HDTV gamma 1.5 ～ 2.4 Monitor	モノクロプリンタ

5 [OK]をクリックします。

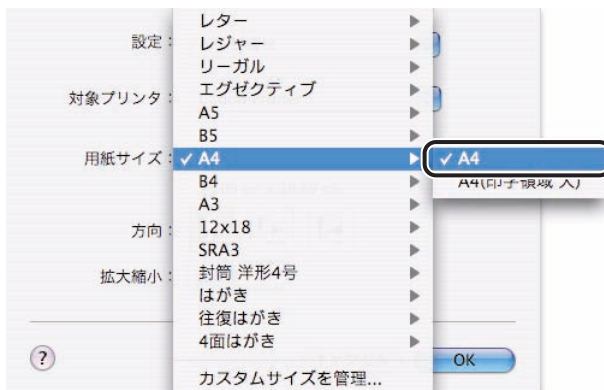
印刷する

ここでは、アプリケーションソフトウェアから原稿を印刷する手順を説明しています。
なお、印刷手順はアプリケーションソフトウェアによって異なります。詳しくは、各アプリケーションソフトウェアに付属の取扱説明書を参照してください。

1 **アプリケーションソフトウェアを起動して、印刷する原稿を表示します。**

2 **[ファイル] メニューから [ページ設定] (または [用紙設定]) を選択します。**

[ページ設定] (または [用紙設定]) ダイアログが表示されます。

3 **[設定] で [ページ属性] が選択されていることを確認して、[対象プリンタ] で印刷するプリンタを選択します。**

4 用紙サイズ、拡大縮小率、用紙の向きを設定します。

5 ［ページ設定］（または［用紙設定］）ダイアログの［OK］をクリックします。

6 ［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

［プリント］ダイアログが表示されます。

メモ　［プリント］ダイアログの表示は、お使いのアプリケーションソフトウェアによって異なることがあります。

7 ［プリンタ］から印刷するプリンタ名を選択します。

8 ページ範囲、部数などを設定したあと、［プリント］をクリックします。

印刷が開始されます。

3

CHAPTER

基本的な印刷機能

LIPS LX プリンタドライバの基本的な印刷機能について説明しています。

用紙サイズを指定する

印刷する用紙のサイズを指定します。

1 アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［ページ設定］（または［用紙設定］）を選択します。

［ページ設定］（または［用紙設定］）ダイアログが表示されます。

2 ［ページ設定］（または［用紙設定］）ダイアログで、［ページ属性］パネルを選択します。

［ページ属性］パネルが表示されます。

3 ［用紙サイズ］で、印刷する用紙のサイズを指定します。

お使いの機種によって、使用可能な用紙サイズは異なります。詳しくは、「印刷できる用紙サイズ」（→ P.3-5）を参照してください。

4 ［OK］をクリックします。

印刷方向を指定する

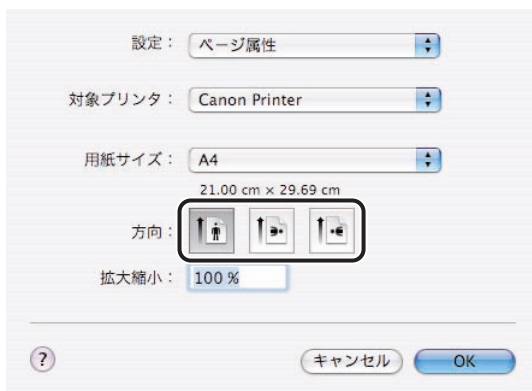
印刷方向を指定して印刷することができます。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［ページ設定］（または［用紙設定］）を選択します。**

［ページ設定］（または［用紙設定］）ダイアログが表示されます。

2 **［ページ設定］（または［用紙設定］）ダイアログで、［ページ属性］パネルを選択します。**

［ページ属性］パネルが表示されます。

3 **［方向］で印刷方向を選択します。**

メモ　Mac OS X 10.5.x をお使いの場合、横方向のアイコンは 1 種類のみ表示されます。お使いのアプリケーションソフトウェアによっては、［レイアウト］パネルの［ページの方向を反転］にチェックマークを付けて、縦／横方向の逆向き（回転）で印刷することができます。

4 **［OK］をクリックします。**

拡大・縮小して印刷する

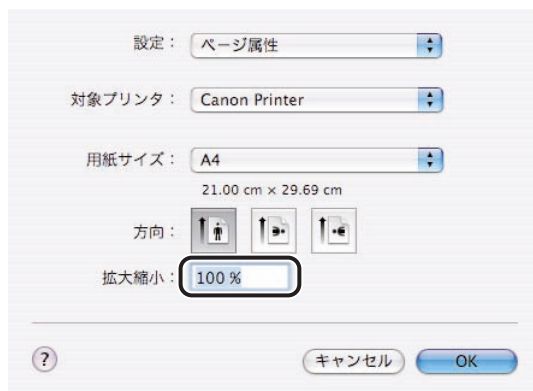
原稿を拡大、または縮小して印刷することができます。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［ページ設定］（または［用紙設定］）を選択します。**

［ページ設定］（または［用紙設定］）ダイアログが表示されます。

2 **［ページ設定］（または［用紙設定］）ダイアログで、［ページ属性］パネルを選択します。**

［ページ属性］パネルが表示されます。

3 **［拡大縮小］で、原稿サイズの拡大縮小率を設定します。**

4 **［OK］をクリックします。**

印刷できる用紙サイズ

お使いのプリンタによって、使用できる用紙サイズが異なります。印刷できる用紙サイズは、以下のとおりです。

メモ
- 使用できる用紙サイズは、プリンタの機種によって異なります。また、使用する用紙サイズ、用紙の種類によって、給紙方法が異なります。詳しくは、プリンタに付属の取扱説明書を参照してください。
- 印字領域（大）を指定すると、印字領域をより広くすることができます。

■ LBP5910/5910M

A3、A4、A5、B4、B5、はがき、往復はがき、4 面はがき、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ、封筒 角形 2 号、封筒 洋形 2 号、封筒 洋形 4 号、SRA3、12 x 18、
ユーザ定義用紙（99.0 x 139.7 ～ 320.0 x 457.2 mm）
長尺紙（210.0 x 457.3 ～ 297.0 x 1200.0 mm）

■ LBP5900

A3、A4、A5、B4、B5、はがき、往復はがき、4 面はがき、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ、封筒 角形 2 号、封筒 洋形 2 号、封筒 洋形 4 号、
ユーザ定義用紙（98.0 x 148.0 ～ 312.0 x 457.2 mm）
長尺紙（210.0 x 457.3 ～ 297.0 x 1200.0 mm）

■ LBP5400/3410

A4、A5、B5、はがき、往復はがき、4 面はがき、リーガル、レター、エグゼクティブ、封筒 洋形 2 号、封筒 洋形 4 号、
ユーザ定義用紙（76.2 x 127.0 ～ 215.9 x 355.6 mm）

■ LBP3970/3920

A3、A4、A5、B4、B5、はがき、往復はがき、4 面はがき、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ、封筒 角形 2 号、封筒 洋形 2 号、封筒 洋形 4 号、
ユーザ定義用紙（90.0 x 148.0 ～ 297.0 x 431.8 mm）

■ LBP3950/3900

A3、A4、A5、B4、B5、はがき、往復はがき、4 面はがき、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ、封筒 角形 2 号、封筒 洋形 2 号、封筒 洋形 4 号、
ユーザ定義用紙（98.0 x 148.0 ～ 297.0 x 431.8 mm）

■ LBP3800/3700

A3、A4、A5、B4、B5、はがき、往復はがき、4 面はがき、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ、封筒 角形 2 号、封筒 洋形 2 号、封筒 洋形 4 号、
ユーザ定義用紙（76.2 x 127.0 ～ 297.0 x 431.8 mm）

■ iPR C7000VP

A3、A4、A5、B4、B5、往復はがき、4 面はがき、レジャー、リーガル、レター、
エグゼクティブ、SRA3、12 x 18、13 x 19、
ユーザ定義用紙（139.7 x 182.0 〜 330.2 x 487.7mm）

■ iPR C1

A3、A4、A5、B4、B5、はがき、往復はがき、4 面はがき、レジャー、リーガル、レター、
エグゼクティブ、SRA3、12 x 18、13 x 19、
ユーザ定義用紙（100.0 x 148.0 〜 330.0 x 483.0 mm）
長尺紙（100.0 x 483.1 〜 330.0 x 630.0 mm）

■ iR C6880/C5880

A3、A4、A5、B4、B5、はがき、往復はがき、4 面はがき、レジャー、リーガル、レター、
エグゼクティブ、SRA3、12 x 18、13 x 19、
ユーザ定義用紙（100.0 x 148.0 〜 330.0 x 483.0 mm）
長尺紙（100.0 x 483.1 〜 330.0 x 630.0 mm）

■ iR C6870/C5870

A3、A4、A5、B4、B5、はがき、往復はがき、4 面はがき、レジャー、リーガル、レター、
エグゼクティブ、SRA3、12 x 18、13 x 19、
ユーザ定義用紙（100.0 x 148.0 〜 313.0 x 474.0 mm）

メモ　SRA3 用紙をお使いの場合、左右の余白は 7.5 mm 固定となります。

■ iR C5185/C5180/C4580/C3880

A3、A4、A5、B4、B5、はがき、往復はがき、4 面はがき、レジャー、リーガル、レター、
エグゼクティブ、SRA3、12 x 18、封筒 角形 2 号、封筒 長形 3 号、
ユーザ定義用紙（100.0 x 148.0 〜 320.0 x 457.2 mm）
長尺紙（100.0 x 457.3 〜 320.0 x 630.0 mm）

■ iR C3380/C2880

A3、A4、A5、B4、B5、はがき、往復はがき、4 面はがき、レジャー、リーガル、レター、
エグゼクティブ、SRA3、12 x 18、封筒 洋形 4 号、
ユーザ定義用紙（99.0 x 140.0 〜 320.0 x 457.2 mm）
長尺紙（99.0 x 457.3 〜 320.0 x 630.0 mm）

■ iR C3170/C2570

A3、A4、A5、B4、B5、はがき、往復はがき、4 面はがき、レジャー、リーガル、レター、
エグゼクティブ、SRA3、12 x 18、封筒 洋形 4 号、
ユーザ定義用紙（99.0 x 140.0 〜 310.0 x 457.0 mm）

■ iR8570N/7270N

A3、A4、A5、B4、B5、はがき、往復はがき、4 面はがき、レジャー、リーガル、レター、
エグゼクティブ、
ユーザ定義用紙（100.0 x 148.0 〜 297.0 x 432.0 mm）

■ iR7105/7095i/7086

A3、A4、A5、B4、B5、はがき、往復はがき、4 面はがき、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ、インデックス紙（A4)、インデックス紙（レター)、
ユーザ定義用紙（100.0 x 148.0 ～ 297.0 x 431.8 mm）
長尺紙（100.0 x 431.9 ～ 297.0 x 630.0 mm）

■ iR6570/5570

A3、A4、A5、B4、B5、はがき、往復はがき、4 面はがき、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ、
ユーザ定義用紙（99.0 x 148.0 ～ 297.0 x 432.0 mm）

■ iR5075N/5065/5055

A3、A4、A5、B4、B5、はがき、往復はがき、4 面はがき、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ、インデックス紙（A4)、インデックス紙（レター)、
ユーザ定義用紙（99.0 x 148.0 ～ 297.0 x 431.8 mm）
長尺紙（99.0 x 431.9 ～ 297.0 x 630.0 mm）

■ iR4570/3570/2870/2270

A3、A4、A5、B4、B5、はがき、往復はがき、4 面はがき、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ、封筒 洋形 4 号、
ユーザ定義用紙（99.0 x 148.0 ～ 297.0 x 432.0 mm）

■ iR3045/3035/3025

A3、A4、A5、B4、B5、はがき、往復はがき、4 面はがき、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ、封筒 洋形 4 号、
ユーザ定義用紙（99.0 x 148.0 ～ 297.0 x 431.8 mm）
長尺紙（99.0 x 431.9 ～ 297.0 x 630.0 mm）

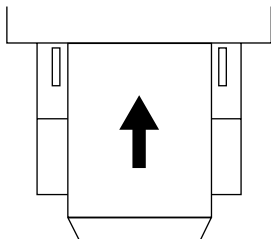
■ iR2230

A3、A4、A5、B4、B5、はがき、往復はがき、4 面はがき、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ、封筒 洋形 4 号、
ユーザ定義用紙（140.0 x 182.0 ～ 297.0 x 432.0 mm）

■ iR105i

A3、A4、A5、B4、B5、4 面はがき、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ、
ユーザ定義用紙（100.0 x 148.0 ～ 297.0 x 432.0 mm）

封筒を使用するときの注意

出力用紙を［封筒 角形 2 号］に設定したときには、以下の図のように給紙してください。封筒 角形 2 号は、一部の機種で使用できます。詳しくは、「印刷できる用紙サイズ」（→P.3-5）を参照してください。

メモ　封筒の印刷面を上にして、ふたの部分が手前になるようにセットします。

部数とページ範囲を設定する

印刷する部数とページ範囲を以下の手順で設定します。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［印刷部数と印刷ページ］パネルが表示されていることを確認して、［部数］と［ページ］を設定します。**

一部のページのみを印刷するときは、開始ページと終了ページを入力します。

3　2 部以上印刷する場合に部単位で排紙したいときは、［丁合い］にチェックマークを付けます。

メモ

例えば、3 ページの原稿を 2 部印刷する場合に、［丁合い］にチェックマークが付いていると、「123, 123」と部単位ごとに出力されます。チェックマークを外したときには、「11,22, 33」とページごとに出力されます。

4　［プリント］をクリックします。

複数ページ分を 1 枚の用紙に印刷する

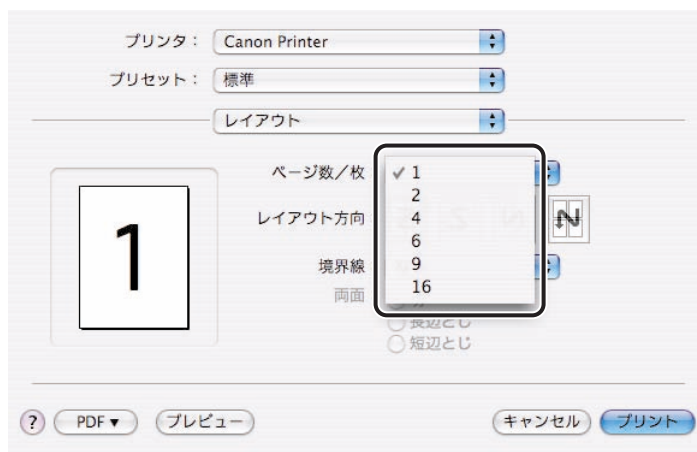
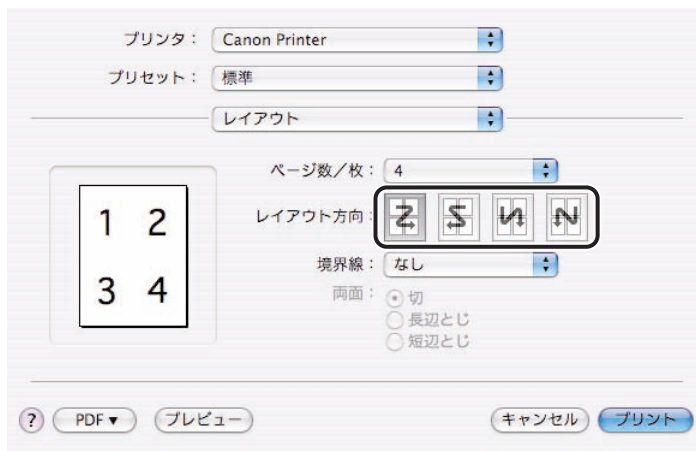
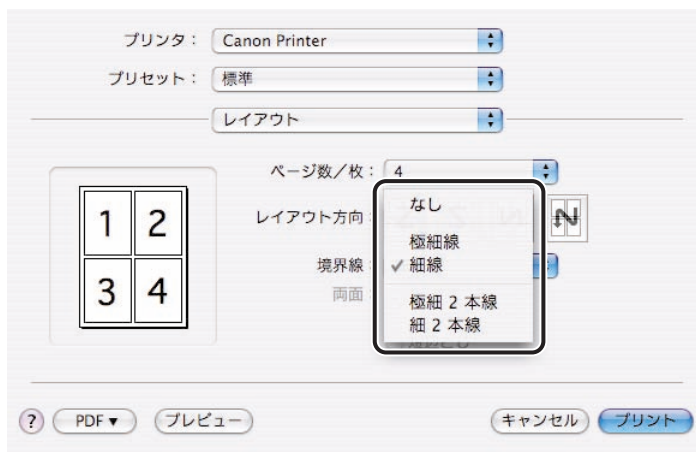
複数ページの原稿を並べて、1 枚の用紙に縮小して印刷することができます。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログで、［レイアウト］パネルを選択します。**

［レイアウト］パネルが表示されます。

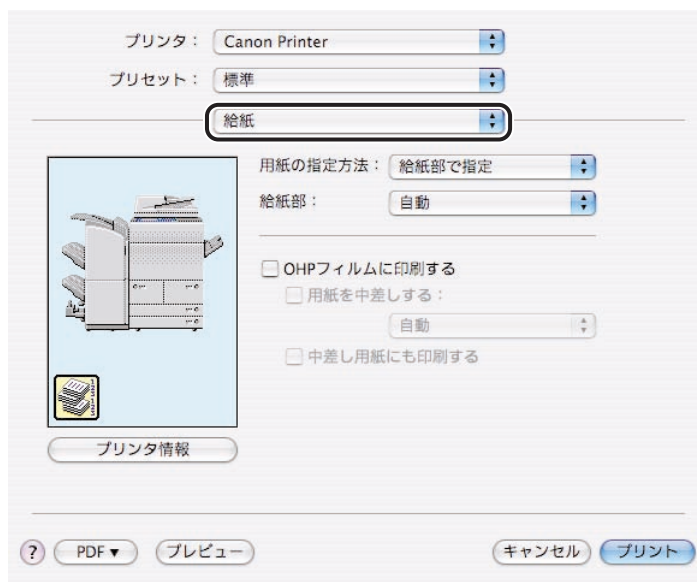
3 **［ページ数／枚］で、1 枚の用紙に何ページ分を印刷するかを選択します。**

4 ［レイアウト方向］で、［ページ数／枚］で設定したページのレイアウトの方向を設定します。

5 各ページに枠線をつける場合は、［境界線］（または［枠線］）を設定します。

6 ［プリント］をクリックします。

給紙部を指定する

特定の給紙部を指定して印刷することができます。通常は、自動的に最適な給紙部から印刷を行います。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログで、［給紙］パネルを選択します。**

［給紙］パネルが表示されます。

3 ［用紙の指定方法］で、印刷する用紙の指定方法（［給紙部で指定］／［用紙タイプで指定］のいずれか）を選択します。

メモ

お使いの機種によっては、[用紙の指定方法] が表示されません。その場合は、手順 4 へ進んで［用紙タイプ］を設定してください。

4 ［給紙部］または［用紙タイプ］で、用紙を給紙する場所、または用紙の種類を選択します。

メモ　お使いの機種によっては、［設定］をクリックすることによって用紙タイプを設定することができます。

5 ［プリント］をクリックします。

3

基本的な印刷機能

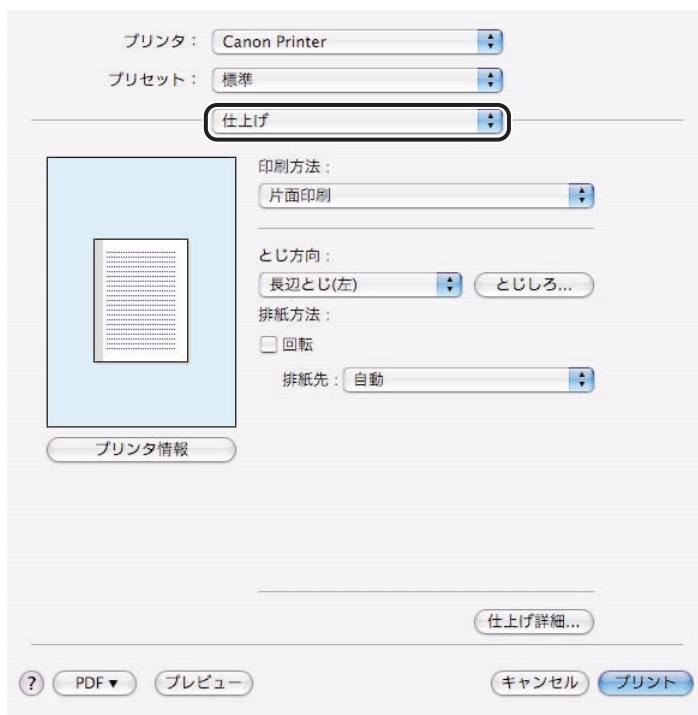
排紙先や排紙方法を指定する

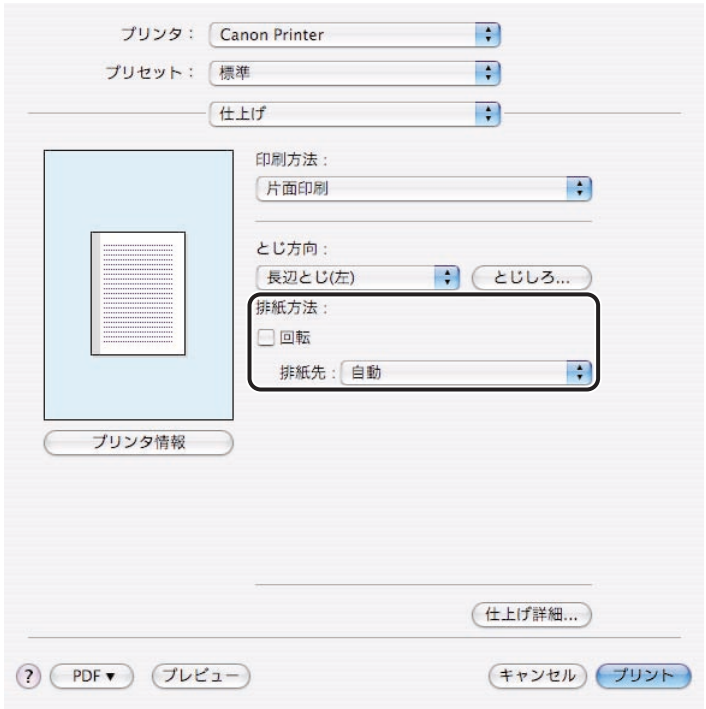
お使いの機種によっては、排紙先を指定して印刷することができます。また、排紙方法（回転、シフトなど）も指定できます。

メモ　プリンタドライバの画面の表示は、実際のものと異なる場合があります。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログで、［仕上げ］パネルを選択します。**

［仕上げ］パネルが表示されます。

3 特定の排紙先や排紙方法を選択します。

[仕上げ] パネルで、以下の項目も設定できます。お使いの機種や装着したオプションによって、設定できる項目は異なります。

- iR シリーズ

[シフト]	出力紙を部単位ごとにずらした状態で排紙します。
[回転]	出力紙を部単位ごとに 90 度ずらして排紙します。
[排紙先]	排紙する場所を選択します。

メモ　お使いの機種によっては、[排紙方法詳細] をクリックして表示する [排紙方法詳細] ダイアログで排紙方法を設定します。

4 [プリント] をクリックします。

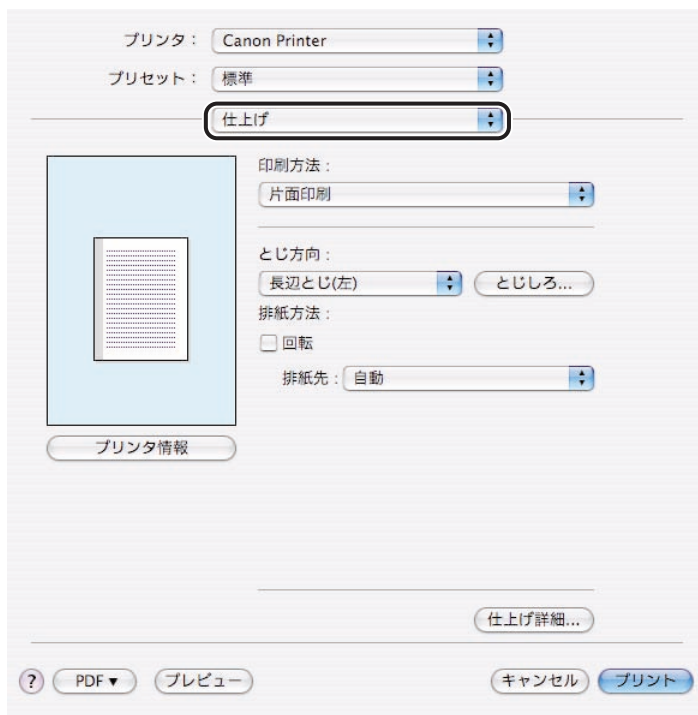
用紙の両面に印刷する

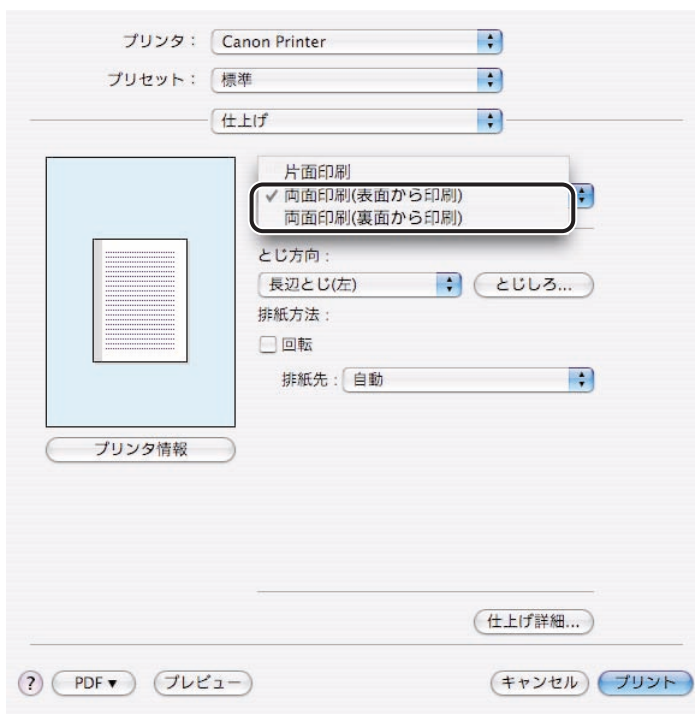
オプションの両面ユニットをプリンタにセットすると、2 ページ分の原稿を用紙の両面に印刷することができます。

メモ　両面印刷は、オプションの両面ユニットを装着している場合に利用できます。
（お使いの機種によっては、標準装備で両面印刷が可能です。）

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログで、［仕上げ］パネルを選択します。**

［仕上げ］パネルが表示されます。

3 ［印刷方法］で、［両面印刷（表面から印刷)］、または［両面印刷（裏面から印刷)］を選択します。

メモ

お使いの機種によって、［両面印刷］では次の項目が選択できます。

・［両面印刷（表面から印刷)］：1 ページ目を用紙の表面に印刷します。

・［両面印刷（裏面から印刷)］：1 ページ目を用紙の裏面に印刷して、2 ページ目を次の用紙の表面に印刷します。

4 ［プリント］をクリックします。

とじしろをつけて印刷する

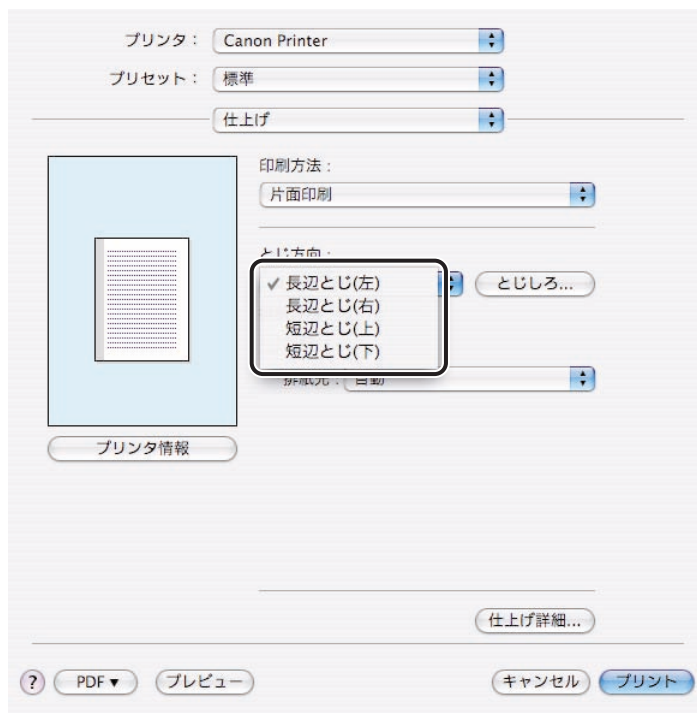
とじしろをつけて印刷することができます。

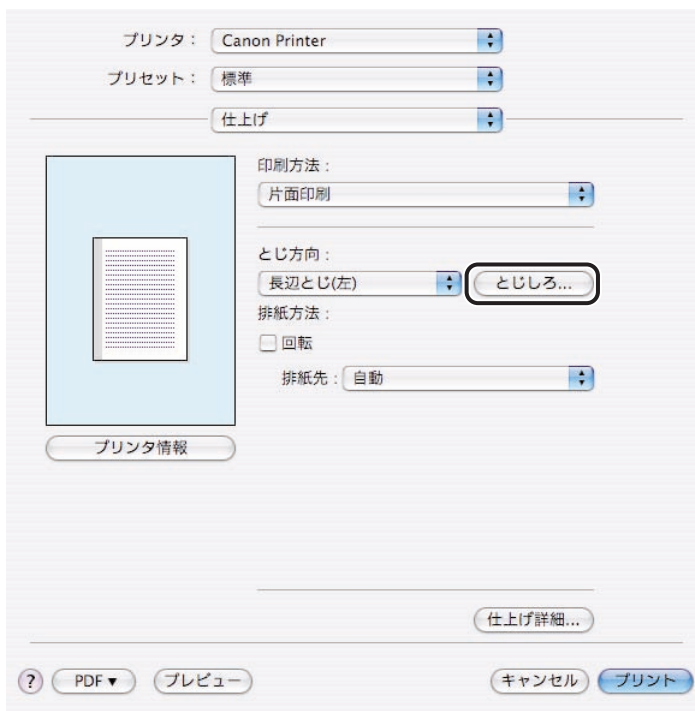
1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

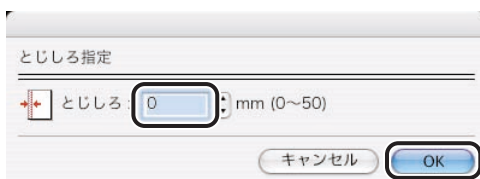
［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログで、［仕上げ］パネルを選択します。**

［仕上げ］パネルが表示されます。

3 **［とじ方向］で、とじしろをつける方向を選択します。**

メモ　とじしろは、原稿の「左」「右」「上」「下」のうち 1 箇所に設定することができます。[とじ方向] を設定すると、設定位置を示すプレビューが表示されます。

4 [とじしろ] をクリックします。

[とじしろ指定] ダイアログが表示されます。

5 とじしろの幅を選択します。

メモ　とじしろの幅は 1mm 単位で選択することができます。お使いの機種によって、選択できる数値は異なります。

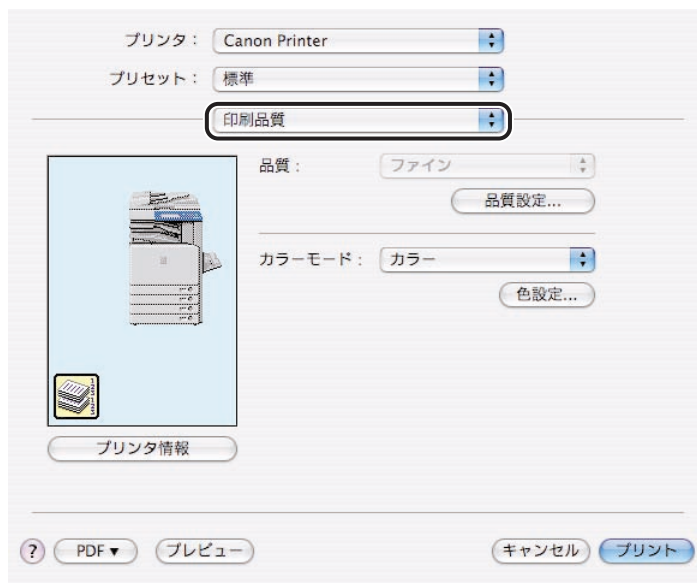
6 [プリント] をクリックします。

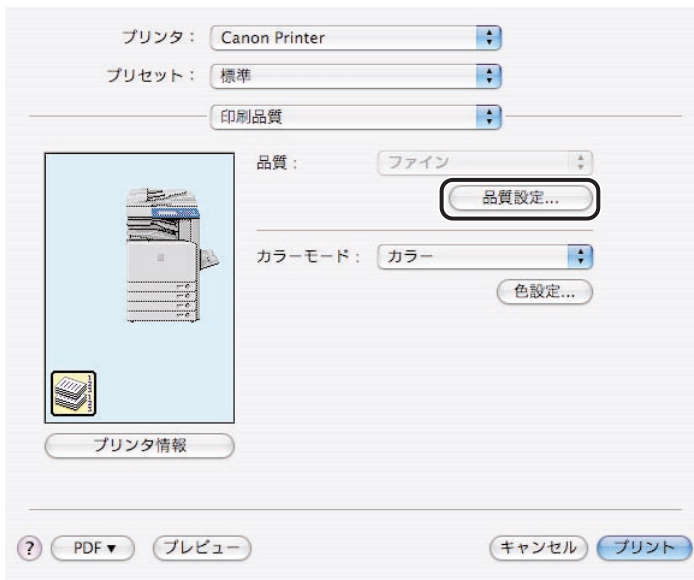
トナーを節約して印刷する

原稿の印刷濃度を薄くして、トナーを節約することができます。原稿を校正するときなどにご利用いただけます。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログで、［印刷品質］パネルを選択します。**

［印刷品質］パネルが表示されます。

3 [品質設定] をクリックします。

[品質設定] ダイアログが表示されます。

4 [トナー節約モード] で [使う] を選択したあと、[OK] をクリックします。

メモ

一部の LBP シリーズをお使いの場合は、[トナー節約モード] の代わりに [ドラフトモード] が表示されます。トナーを節約して、薄く印刷を行う機能です。

5 [プリント] をクリックします。

お気に入りを追加する

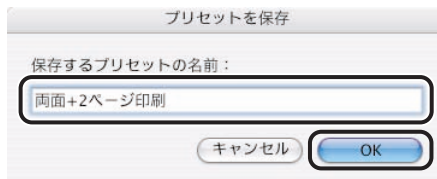
［プリント］ダイアログの各パネルで設定している項目を、「お気に入り」または「プリセット」としてあらかじめ登録できます。

1 アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 ［プリセット］のポップアップメニューから［別名で保存］を選択します。

［プリセットを保存］ダイアログが表示されます。

3 ［保存するプリセットの名前］を入力したあと、［OK］をクリックします。

設定が保存されます。

メモ　設定した内容で印刷するときは、［プリセット］のポップアップメニューから使用したい項目を選択します。

4
CHAPTER

便利な印刷機能

LIPS LX プリンタドライバの便利な印刷機能について説明しています。

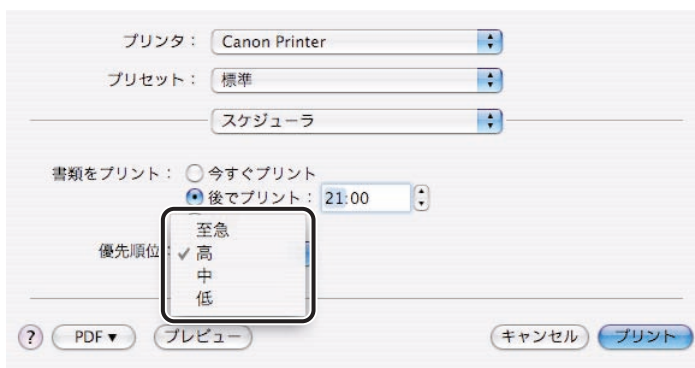
印刷のスケジュールを設定する（Mac OS X 10.3 以降のみ）

印刷する時間および印刷の優先順位を指定できます。

1 ［プリント］ダイアログの［スケジューラ］パネルを表示します。

2 ［書類をプリント］から、いつ印刷するかを選択します。

［後でプリント］を選択した場合は、印刷時刻を設定します。

3 印刷の優先順位を［至急］／［高］／［中］／［低］から選択します。

印刷ページの順番を変える（Mac OS X 10.3 以降のみ）

印刷ページの順番を変えることができます。

1 ［プリント］ダイアログの［用紙処理］パネルを表示します。

2 印刷するページの順序を選択します。

Mac OS X 10.4 以降をお使いの場合は、［ページの順序］からページの順序を選択します。

Mac OS X 10.3 ～ 10.3.9 をお使いの場合で、ページの順序を逆にして印刷したいときは、［ページの順序を逆にする］にチェックマークを付けます。

3 印刷するページを［すべてのページ］、［奇数ページ］、［偶数ページ］から選択します。

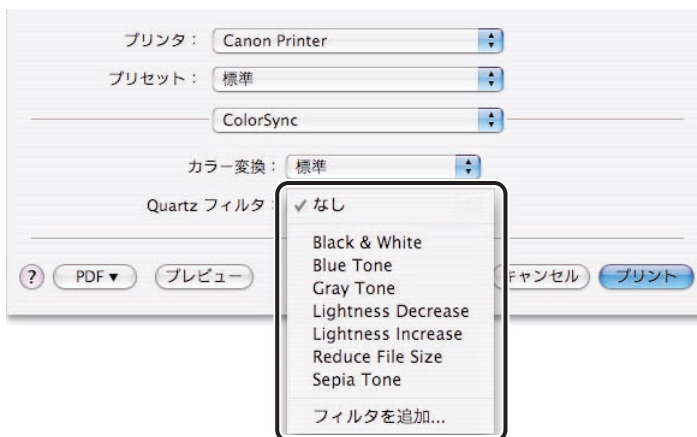
色フィルタを指定する（Mac OS X 10.3.x ～ 10.4.x のみ）

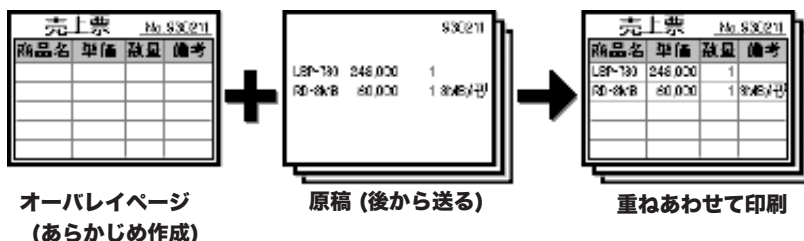
色フィルタを指定することができます。

1 ［プリント］ダイアログの［ColorSync］パネルを表示します。

2 ［カラー変換］で、［標準］を選択します。

メモ　本製品では［プリンタのカラー］を選択できません。

3 ［Quartz フィルタ］から設定したいフィルタを選択します。

データを重ね合わせて印刷する（オーバレイ印字）

印刷データの各ページにフォームファイルを重ね合わせて印刷する、オーバレイ印字機能があります。オーバレイ印字では、あらかじめフォームファイルとして作成しておいたデータを、印刷原稿に重ね合わせて印刷します。これによって、印刷するたびに各ページに同じデータを送信する手間を省くことができます。例えば、報告書、給料明細書のフォーマットなどをフォームファイルとして作成しておけば、テキストデータを作成して印刷するだけで、フォームファイルと合成されたものが出力されます。

オーバレイ印字を行うには、以下の 2 段階の操作が必要となります。まず下地の原稿となるフォームファイルを作成します。このあとで、作成したフォームファイルを使ってオーバレイ印字を行います。

1. フォームファイルを作成する
2. 実際にオーバレイ印字を行う

メモ　iR2230 または LBP シリーズをお使いの場合、本機能は使用できません。

フォームファイルを作成する

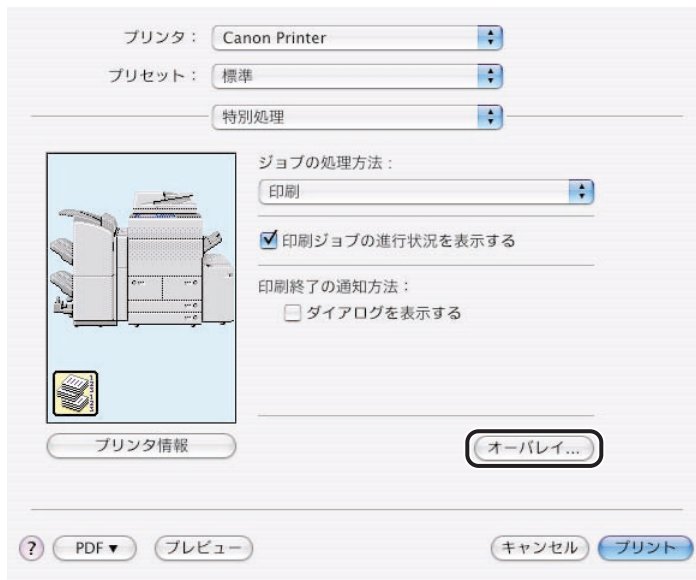
1 **アプリケーションソフトウェアでフォームの原稿を作成します。**

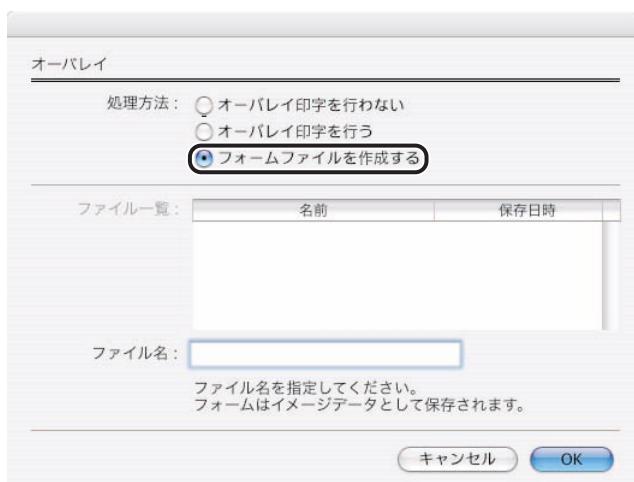
2 **［ファイル］メニューから、［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

3 **［プリント］ダイアログで、［特別処理］パネルを選択します。**

［特別処理］パネルが表示されます。

4 ［オーバレイ］をクリックします。

［オーバレイ］ダイアログが表示されます。

5 ［処理方法］で、［フォームファイルを作成する］を選択します。

6 ［ファイル名］で、フォームファイルの名称を入力します。

7 ［オーバレイ］ダイアログの［OK］をクリックします。

8 ［プリント］をクリックします。

プリンタにフォームファイルが作成されます。

実際にオーバレイ印字を行う

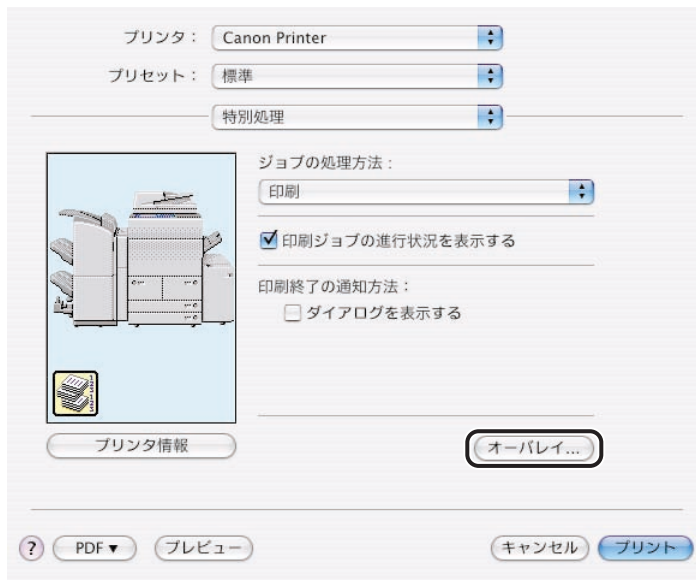
1 アプリケーションソフトウェア上で、印刷する原稿を表示します。

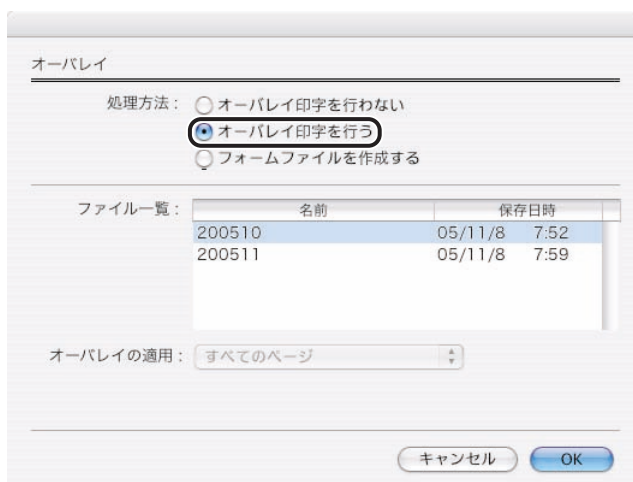
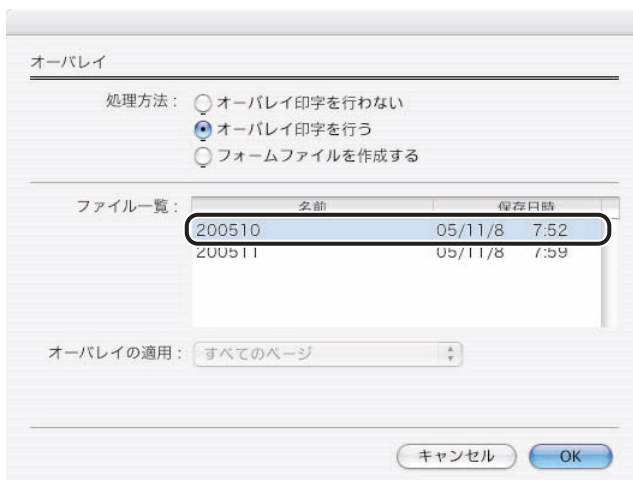
2 ［ファイル］メニューから、［プリント］を選択します。

［プリント］ダイアログが表示されます。

3 ［プリント］ダイアログで、［特別処理］パネルを選択します。

［特別処理］パネルが表示されます。

4 ［オーバレイ］をクリックします。

［オーバレイ］ダイアログが表示されます。

5 ［処理方法］で、［オーバレイ印字を行う］を選択します。

6 ［ファイル一覧］から、使用するフォームを選択します。

7 両面印刷を設定するときは、［オーバレイの適用］から、フォームの合成方法（[すべてのページ］／［表面のみ］／［裏面のみ]）を選択します。

8 ［オーバレイ］ダイアログの［OK］をクリックします。

9 ［プリント］をクリックします。

フォームと合成された印刷原稿が出力されます。

ステイプルして印刷する

印刷した用紙をステイプルして出力します。たとえば、この機能を利用して 1 ～ 3 ページまでを 2 部印刷すると、1 ～ 3 ページを順に印刷した後に、さらに続けて 1 ～ 3 ページが印刷されます。このような順番で指定した回数分だけ印刷され、同時にステイプルされます。

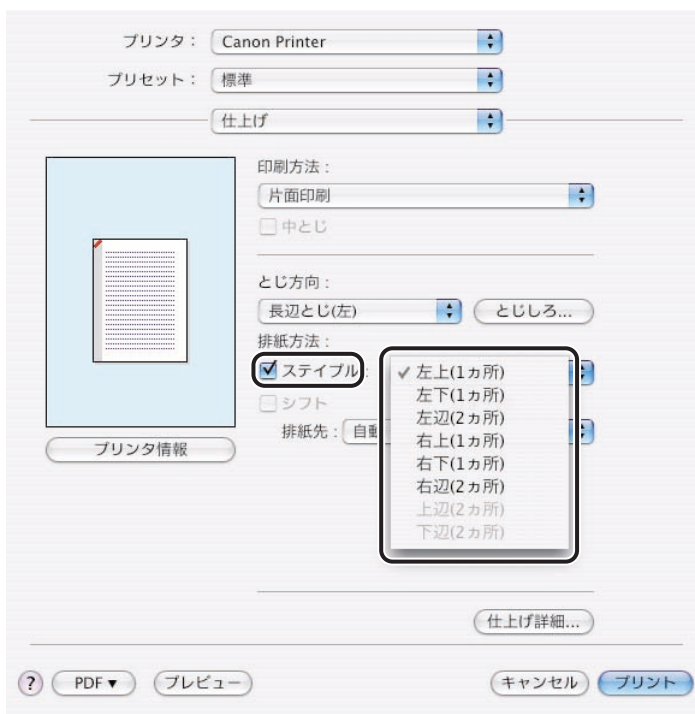
メモ　ステイプルに対応したオプションを装着した場合に、本機能を使用できます。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログで、［仕上げ］パネルを選択します。**

［仕上げ］パネルが表示されます。

3 ［ステイプル］にチェックマークを付けたあと、ステイプルの位置を選択します。

4 ［プリント］をクリックします。

製本印刷する（小冊子）

1 枚の用紙の両面に、それぞれ 2 ページずつ印刷して、まとめて 2 つ折りにすることで、そのまま本のように 1 ページ目から順序どおりにとじることができます。例えば、全部で 12 ページの文書を製本印刷すると、1 枚の用紙に両面印刷され、合計 3 枚の用紙に出力されます。製本印刷では、ページ番号が順番どおり並ぶように印刷順序が調整されるため、出力された用紙 3 枚をまとめて 2 つ折りにしてとじるだけで、本を作ることができます。

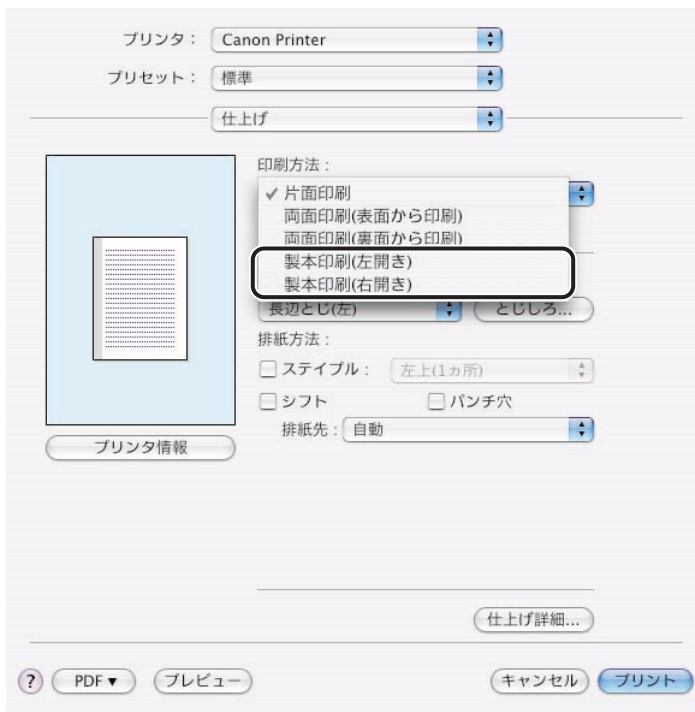
メモ　iPR シリーズまたは iR シリーズをお使いの場合に、本機能を使用できます。

1 アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 ［プリント］ダイアログで、［仕上げ］パネルを選択します。

［仕上げ］パネルが表示されます。

3 ［印刷方法］で、製本方法を選択します。

4 製本に関する設定を行います。

メモ

製本印刷時には、以下の項目を設定できます。
お使いの機種や装着したオプションによって、設定できる項目は異なります。

［中とじ］	製本印刷時に中とじをする場合に選択します。
［トリマーを使って用紙を断裁する］	中とじ印刷時、用紙がずれて出力される場合があります。このような場合に、用紙の端を断裁し、整えて出力します。［断裁幅の調整］で調整方法を選択します。
［製本詳細］	開き方向とクリープ（ずれ）補正を設定します。

5 ［プリント］をクリックします。

製本印刷する（くるみ製本）

通常の製本印刷の他に、くるみ製本を行うことができます。
くるみ製本とは、本文ページのとじしろに糊付けをして、それを表紙でくるむことによって製本を行う機能です。

メモ　本機能は、iR7105/7095i/7086 でくるみ製本に対応したオプションを装着した場合のみ、使用することができます。

1　アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

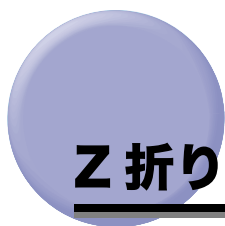
［プリント］ダイアログが表示されます。

2　［プリント］ダイアログで、［仕上げ］パネルを選択します。

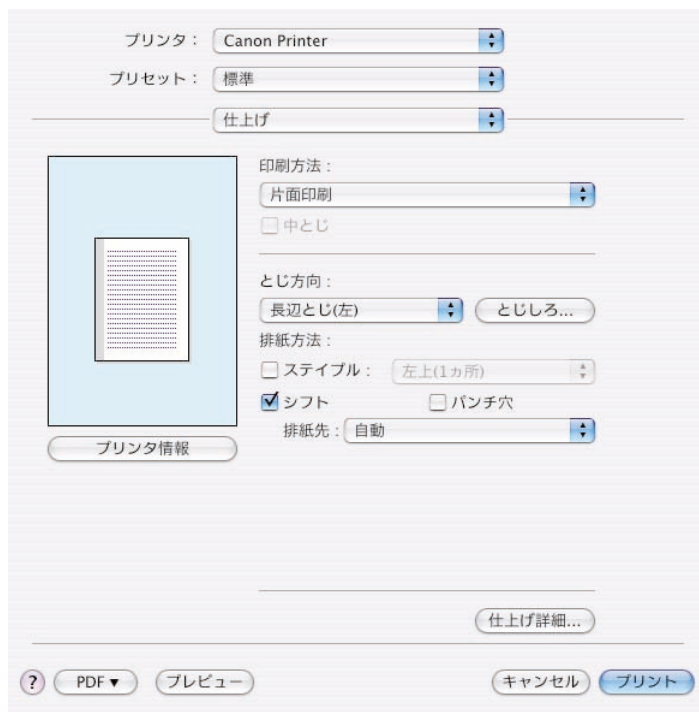
［仕上げ］パネルが表示されます。

3 ［印刷方法］で［くるみ製本］を選択します。

4 表紙の用紙サイズと本文の用紙サイズ、仕上がりサイズを設定します。

5 ［プリント］をクリックします。

Z 折り、パンチ穴などの仕上げ印刷を行う

［仕上げ］パネルで、Z 折りやパンチ穴など、出力紙の仕上げに関する設定を行います。

メモ　お使いの機種や装着したオプションによって、設定できる項目は異なります。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログで、［仕上げ］パネルを選択します。**

［仕上げ］パネルが表示されます。

3 **仕上げに関する設定を行います。**

メモ

- ［仕上げ］パネルで、以下の項目を設定できます。お使いの機種や装着したオプションによって、設定できる項目は異なります。

［印刷方法］	片面印刷、両面印刷、製本印刷、くるみ製本を選択します。
［中とじ］	製本印刷時に中とじをする場合に選択します。
［トリマーを使って用紙を断裁する］	中とじ印刷時に、用紙がずれて出力される場合があります。このような場合に、用紙の端を断裁し、整えて出力します。［断裁幅の調整］で調整方法を選択します。
［とじ方向］	とじしろをつける方向を選択します。
［とじしろ］	とじしろの幅を設定します。
［ステイプル］	出力紙をステイプルで止めるときに設定します。
［C 折り］	出力紙を C 折り（内側に三つ折り）するときに設定します。
［パンチ穴］	出力紙にパンチ穴を開けるときに設定します。
［Z 折り］	出力紙を Z 折りするときに設定します。
［シフト単位］	指定した部数ごとに出力紙をずらした状態で排紙します。

- お使いの機種によっては、［排紙方法詳細］をクリックして表示する［排紙方法詳細］ダイアログで排紙方法を設定します。

4 ［プリント］をクリックします。

表紙／裏表紙を付ける

表紙と裏表紙を付けて印刷を行うことができます。また、表紙と裏表紙の印刷面をそれぞれ設定することができます。

メモ　本機能は、お使いのプリンタの機能バージョンによっては使用できません。

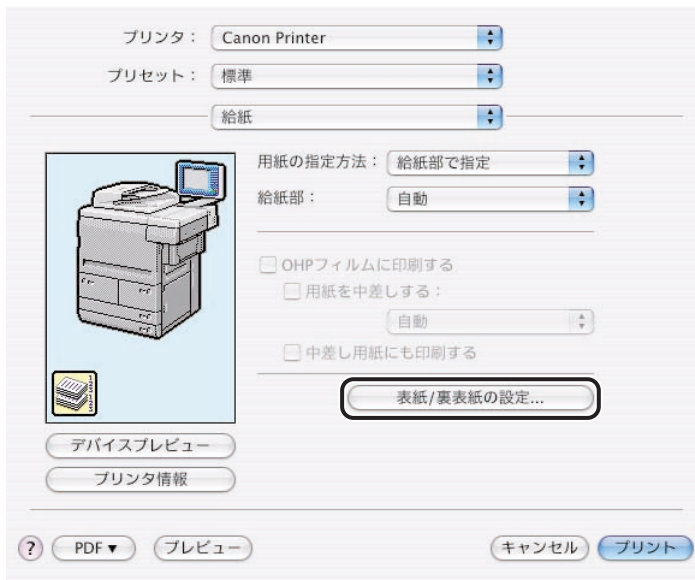
1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

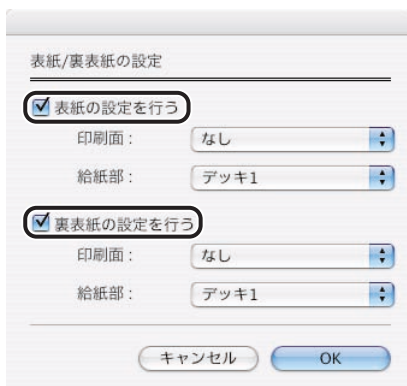
［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログで、［給紙］パネルを選択します。**

［給紙］パネルが表示されます。

3 **［給紙部］から本文ページの給紙部を選択します。**

4 ［表紙 / 裏表紙の設定］をクリックします。

［表紙 / 裏表紙の設定］ダイアログが表示されます。

5 ［表紙の設定を行う］／［裏表紙の設定を行う］にチェックマークを付けて、表紙と裏表紙を設定します。

メモ

お使いの機種によっては、上記の手順とは異なり、［表紙の設定項目］から［なし］／［表紙のみ］／［裏表紙のみ］／［表紙と裏表紙］のいずれかを選択します。
［なし］を選択すると、表紙および裏表紙の設定を行いません。

6 ［印刷面］から表紙および裏表紙への印刷面を選択します。

メモ ［なし］を選択すると、空白ページが挿入されます。

7 ［給紙部］から表紙および裏表紙の給紙部を選択します。

8 ［表紙 / 裏表紙の設定］ダイアログの［OK］をクリックします。

9 ［プリント］をクリックします。

印刷データをプリンタに保存する

印刷データをプリンタ本体のハードディスクやボックスに保存することができます。保存したデータは、リモート UI やプリンタ本体のパネルから、通常の出力を行えます。

メモ
- LBP シリーズでハードディスクを装着したとき、または iPR シリーズおよび iR シリーズの標準状態のときに、本機能を使用できます。
- 保存したデータの出力方法は、お使いの機種により異なります。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログの［特別処理］パネルを選択します。**

［特別処理］パネルが表示されます。

3 **［ジョブの処理方法］で、［保存］を選択します。**

4 ［プリント］をクリックします。

［保存先］ダイアログが表示されます。

5 ［保存するデータの名称］に保存するデータ名を入力して、保存先のボックスを選択します。

メモ

- iPR シリーズまたは iR シリーズをお使いの場合、保存先のボックスは、shift キーもしくは command キーを押しながら選択することによって、複数選択することができます。
- 試し印刷に対応した機種をお使いの場合、［試し印刷］に［On］と表示されたボックスを選択すると、保存と同時に印刷データが 1 部印刷されます。

6 ［保存先］ダイアログの［OK］をクリックします。

セキュアプリントを実行する

印刷データにユーザ名とパスワード（暗証番号）を付加して、プリンタに保存します。印刷するときは、プリンタ本体のパネル、またはリモート UI からパスワードを入力して印刷します。
機密書類など、誰にも見られたくない書類を印刷するときに便利な機能です。

メモ　LBP シリーズでハードディスクを装着したとき、または iPR シリーズおよび iR シリーズの標準状態のときに、本機能を使用できます。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログの［特別処理］パネルを選択します。**

［特別処理］パネルが表示されます。

3 **［ジョブの処理方法］で、［セキュアプリント］を選択します。**

4 ［プリント］をクリックします。

［セキュアプリント］ダイアログが表示されます。

5 ［セキュアプリント］ダイアログで、［ドキュメント名］、［ユーザ名］、［パスワード］を入力します。

メモ

- ［ドキュメント名］および［ユーザ名］は、全角 16 文字、または半角 32 文字以内です。
- ［パスワード］には、7 文字以内の半角数字（0 ～ 9999999）を入力してください。

6 ［セキュアプリント］ダイアログの［OK］をクリックします。

追い越し印刷／割り込み印刷を行う

他の印刷ジョブの処理中に割り込んで印刷したり、他の処理待ち中の印刷ジョブを追い越して印刷することができます。

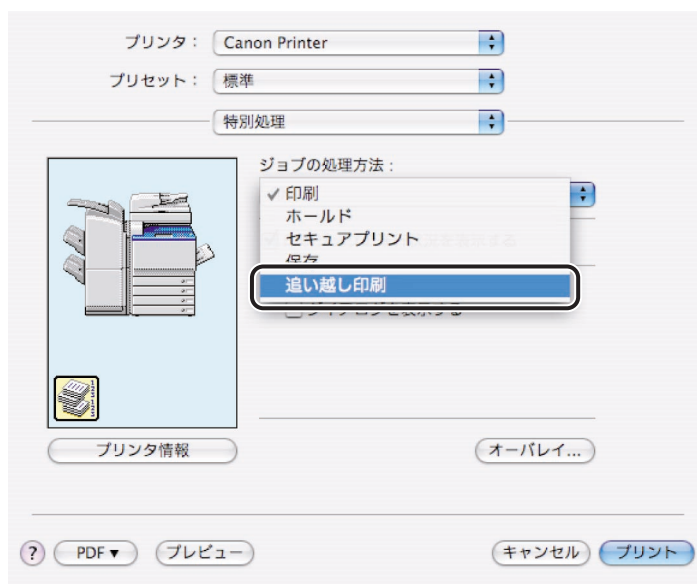
メモ　本機能は、お使いのプリンタの機種によっては使用できません。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログの［特別処理］パネルを選択します。**

［特別処理］パネルが表示されます。

3 **［ジョブの処理方法］から［追い越し印刷］または［割り込み印刷］を選択します。**

メモ

- ［追い越し印刷］では、処理中の印刷ジョブが終了したあとに、他のジョブより優先して印刷を行います。
- ［割り込み印刷］では、処理中の印刷ジョブを中断して別の印刷を行います。中断されたジョブは、割り込んだジョブの印刷終了後に再開されます。
- LBP5910/5910M をお使いの場合、［割り込み印刷］が上記の［追い越し印刷］と同様の機能となります。

4 **［プリント］をクリックします。**

部門管理を行う

社内や部門内で、プリンタの印刷枚数などの情報を管理することができます。印刷枚数の集計管理、部門ごとへのプリンタの費用の割り振りなどにご利用できます。部門管理印刷を行うには、あらかじめプリンタ本体で ID とパスワード（暗証番号）の登録が必要です。

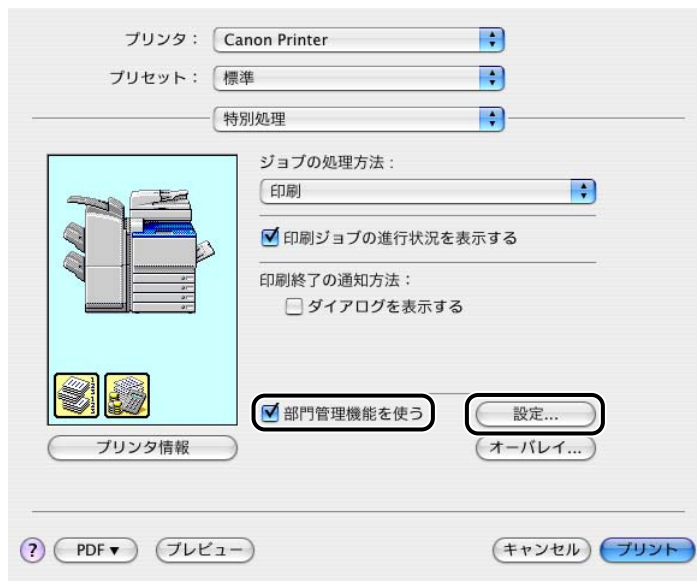
メモ　お使いの機種によっては、本機能を使用できない場合があります。

1 アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 ［プリント］ダイアログで、［特別処理］パネルを選択します。

［特別処理］パネルが表示されます。

3 ［部門管理機能を使う］にチェックマークを付け、［設定］をクリックします。

［ID/ パスワードの設定］ダイアログが表示されます。

4 ［ID/ パスワードの設定］ダイアログで、［ID］、［パスワード］などの設定を行います。

メモ

- ［照会］をクリックすると、プリンタで登録されている［ID］と［パスワード］の確認を行えます。
- ［ID］には、プリンタ本体で登録している半角英数字（0 ～ 9、a ～ z、A ～ Z）を 8 文字以内で入力してください。
- ［パスワード］には、プリンタ本体で登録した 7 文字以内の半角数字（0-9999999）を入力するか、または入力を省略してください。
- カラープリンタで部門管理機能を使用中にモノクロ印刷を行う場合、［モノクロ指定時は部門管理を行わない］にチェックマークを付けると、そのドキュメントは部門管理されずに出力されます。本機能をお使いの場合は、プリンタ本体のパネルの［白黒プリンタジョブの許可］を ON にします。

5 ［ID/ パスワードの設定］ダイアログで、［OK］をクリックします。

6 ［特別処理］パネルの［プリント］をクリックします。

ホールドキューに印刷ジョブを一時的に保管する

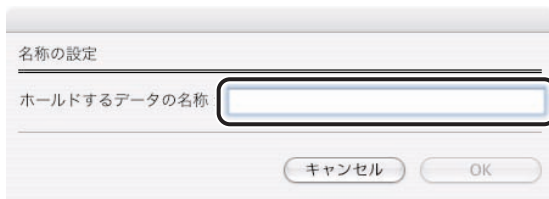
印刷ジョブをプリンタ本体の特殊なボックス（ホールドキュー）に一時的に保管することができます。ホールドキュー内の印刷ジョブはプリントする順番をオペレータが調整したり、設定を変更することができます。ホールド状態の印刷ジョブは出力を指示するとプリントされます。

メモ　一部の iR シリーズのみ、本機能を使用できます。

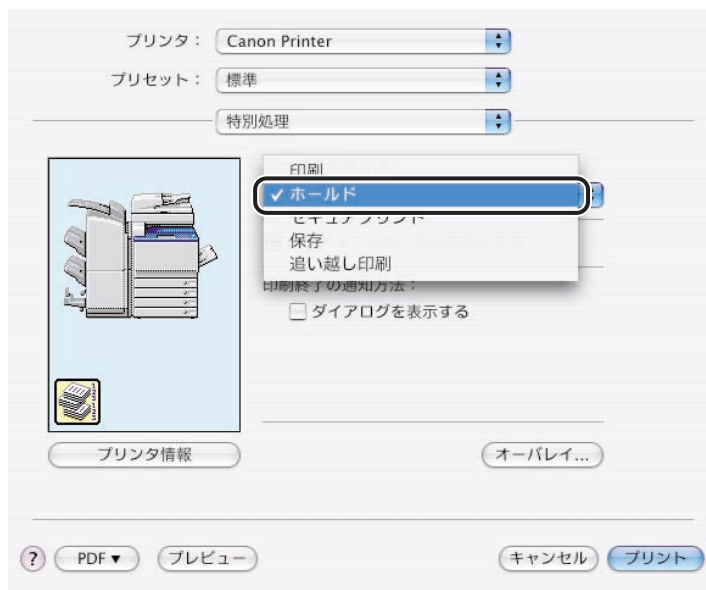
1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログの［特別処理］パネルを選択します。**

［特別処理］パネルが表示されます。

3 **［ジョブの処理方法］で、［ホールド］を選択します。**

4

便利な印刷機能

4 **［プリント］をクリックします。**

［名称の設定］ダイアログが表示されます。

5 **［名称の設定］ダイアログで、［ホールドするデータの名称］を入力します。**

6 **［名称の設定］ダイアログの［OK］をクリックします。**

原稿を PDF ファイルとして保存する

原稿をプリンタから印刷する代わりに、PDF 形式のファイルとして保存することができます。

Mac OS X 10.2.8 ～ 10.3.9 の場合

メモ　Mac OS X 10.2.8 ～ 10.3.9 をお使いの場合は、［プリント］ダイアログの［PDF として保存］でも、原稿を PDF として保存することができます。

1　アプリケーションソフトウェアで、印刷データのファイルとして保存したい原稿を開きます。

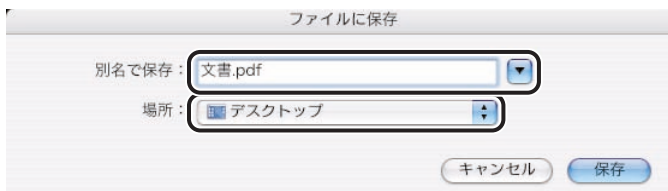
2　［プリント］ダイアログで、［出力オプション］パネルを選択します。

［出力オプション］パネルが表示されます。

3　［ファイルとして保存］にチェックマークを付けます。

4 ［保存］をクリックします。

［ファイルに保存］ダイアログが表示されます。

5 ［ファイルに保存］ダイアログで、保存するファイル名と保存場所を設定します。

6 ［保存］をクリックします。

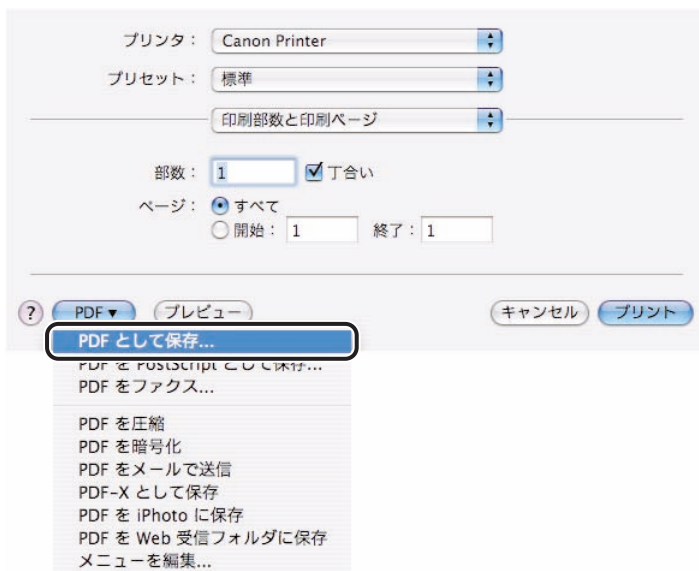
指定したフォーマットでファイルが作成されます。

Mac OS X 10.4 以降の場合

1 アプリケーションソフトウェアで、PDF ファイルとして保存したい原稿を開きます。

2 ［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

［プリント］ダイアログが表示されます。

3 ［プリント］ダイアログで、［PDF］から［PDF として保存］を選択します。

［保存］ダイアログが表示されます。

4 ［保存］ダイアログで、保存するファイル名と保存する場所を設定します。

5 ［保存］をクリックします。

PDF ファイルが作成されます。

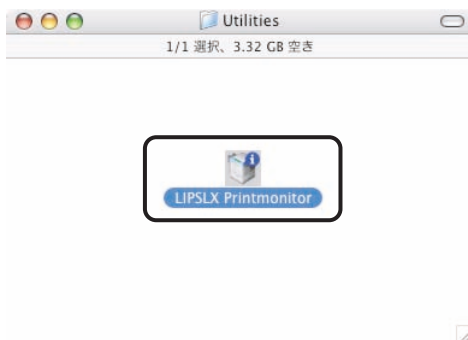
プリントモニタを利用する

プリントモニタは、プリンタと連動して動作するアプリケーションソフトウェアです。プリントモニタを使用すると、用紙切れやオフラインなどのプリンタ状態をコンピュータ上で確認することができます。

プリントモニタを起動する

プリントモニタは、次の手順で起動します。

1 **お使いのハードディスクの［ライブラリ］－［Printers］－［Canon］－［UFR2］－［Utilities］を開きます。**

2 **［LIPSLX Printmonitor］アイコンをダブルクリックします。**

［プリントモニタ］ウィンドウが表示されます。

メモ

- デスクトップにプリントモニタのエイリアスを作成しておくと、エイリアスをダブルクリックするだけでプリントモニタを起動することができて便利です。
- ［プリンタリスト］ダイアログまたは［システム環境設定］から、プリントモニタを起動することができます。
  - ・Mac OS X 10.2.8 をお使いのときは、プリントセンターの［プリンタリスト］ダイアログでプリンタを選択して［設定］をクリックします。
  - ・Mac OS X 10.3.x をお使いのときは、プリンタ設定ユーティリティの［プリンタリスト］ダイアログでプリンタを選択して［ユーティリティ］をクリックします。
  - ・Mac OS X 10.4.x をお使いのときは、［システム環境設定］－［プリントとファクス］ダイアログの［プリント］パネルでプリンタを選択して［プリントキュー］をクリックし、表示されたダイアログで［ユーティリティ］をクリックします。
  - ・Mac OS X 10.5.x をお使いのときは、［システム環境設定］－［プリントとファクス］ダイアログのプリンタ一覧から目的のプリンタを選択して［プリントキューを開く］をクリックし、表示されたダイアログで［ユーティリティ］をクリックします。

［ファイル］メニュー

プリントモニタの［ファイル］メニューには、次の機能があります。

［開く］	［プリントモニタ］ウィンドウを開きます。
［閉じる］	［プリントモニタ］ウィンドウを閉じます。
［環境設定］	［環境設定］ダイアログが表示されます。［環境設定］ダイアログで、ポーリング間隔（プリンタの情報を取得する間隔）の設定を行います。

［プリンタ］メニュー

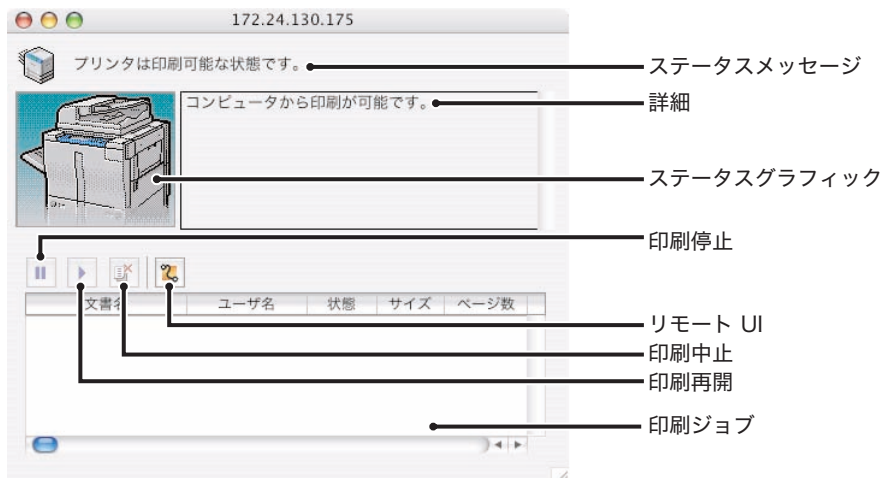
プリントモニタの［プリンタ］メニューには、次の機能があります。

［プリンタ名］	印刷状況をモニタできる出力先（プリンタ）が表示されます。複数の出力先がある場合は、モニタしたい出力先を選択します。
［監視プリンタを検索］	［プリンタ］メニューに目的の出力先が表示されていない場合、［監視プリンタを検索］を選択することによって、目的の出力先を検索できます。
［プリンタ情報を取得］	［プリンタ情報］ダイアログが表示されます。
［デフォルトにする］	ウィンドウに表示されている出力先を登録します。

メモ

プリンタ側でカセットの構成などのプリンタ構成を変更した場合、必ず、［プリンタ］メニューから［プリンタ情報を取得］を選択するか、［プリント］ダイアログで［プリンタ情報］をクリックしてください。この操作を行わないときは、正しく印刷されないことがあります。

[プリントモニタ]ウィンドウ

[プリントモニタ]ウィンドウでは、プリンタの状態や印刷中の原稿の状態が表示されます。また、印刷中に問題が発生した場合は、このウィンドウにエラーの状況が表示されます。

[ステータスメッセージ]	オフライン状態や用紙切れなど、プリンタの状態が表示されます。
[詳細]	[ステータスメッセージ]の詳細やエラーが発生したときの処置方法が表示されます。
[ステータスグラフィック]	プリンタの状態がイメージで表示されます。
[印刷ジョブ]シート	印刷する文書名のリストが表示されます。ユーザ名、印刷ジョブの状態、データサイズなども表示されます。
[印刷停止]	ご使用のコンピュータから、プリンタ、あるいはプリントサーバへのデータ送信を停止します。
[印刷再開]	送信停止したものを再開します。
[印刷中止]	選択した原稿の印刷を中止して、削除します。
[リモート UI]	リモート UI を起動します。

メモ

- リモート UI を起動するには、Web ブラウザが設定されている必要があります。設定方法については、本体に付属の「リモート UI ガイド」を参照してください。
- プリンタ側でカセットの構成などのプリンタ構成を変更した場合、必ず、[プリンタ]メニューから[プリンタ情報を取得]を選択するか、[プリント]ダイアログで[プリンタ情報]をクリックしてください。この操作を行わないときは、正しく印刷されないことがあります。

ユーザ定義用紙を設定する

アプリケーションソフトウェア上の原稿のサイズには、用意されている定型用紙以外に、独自に用紙を設定することができます。この用紙を、ユーザ定義用紙と呼びます。

Mac OS X 10.2.8 ～ 10.3.9 の場合

1 アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［ページ設定］（または［用紙設定］）を選択します。

［ページ設定］（または［用紙設定］）ダイアログが表示されます。

2 ［ページ設定］（または［用紙設定］）ダイアログで、［カスタム用紙サイズ］パネルを選択します。

［カスタム用紙サイズ］パネルが表示されます。

3 ［新規］をクリックして、［用紙サイズ］、［プリンタの余白］を設定します。

設定内容は、以下のとおりです。

［用紙サイズ］	用紙の縦と横の長さを設定します。なお、印刷できる用紙サイズは、お使いのプリンタによって異なります。詳しくは、「印刷できる用紙サイズ」（→ P.3-5）を参照してください。
［プリンタの余白］	余白の長さを設定します。

4 設定したユーザ定義用紙の名称を入力したあと、［保存］をクリックします。

設定した用紙が登録されます。

5 さらに別のユーザ定義用紙を設定する場合は、手順３～４を繰り返します。

メモ　一度登録した用紙を削除するときは、削除する用紙を選択したあと、［削除］をクリックしてください。

6 ［カスタム用紙サイズ］パネルの［OK］をクリックします。

Mac OS X 10.4 以降の場合

1 アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［ページ設定］（または［用紙設定］）を選択します。

［ページ設定］（または［用紙設定］）ダイアログが表示されます。

2 ［ページ設定］（または［用紙設定］）ダイアログの［用紙サイズ］から、［カスタムサイズを管理］を選択します。

［カスタム・ページ・サイズ］ダイアログが表示されます。

3 ［+］をクリックして、［ページサイズ］、［プリンタの余白］を設定します。

設定内容は、以下のとおりです。

［ページサイズ］	用紙の縦と横の長さを設定します。なお、印刷できる用紙サイズは、お使いのプリンタによって異なります。詳しくは、「印刷できる用紙サイズ」（→ P.3-5）を参照してください。
［プリンタの余白］	余白の長さを設定します。 ［ユーザ定義］ポップアップリストから、プリンタリストに登録したプリンタ名の一覧を表示して、選択したプリンタ名に適した余白を選択することもできます。

4 設定したユーザ定義用紙の名称を入力します。

設定した用紙が登録されます。

5 さらに別のユーザ定義用紙を設定する場合は、手順３～４を繰り返します。

一度登録した用紙を削除するときは、削除する用紙を選択したあと、[-] をクリックしてください。

6 ［カスタム・ページ・サイズ］ダイアログの［OK］をクリックします。

印刷時にメッセージを表示する

印刷時に、印刷の進行状況を表示することができます。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログで、［特別処理］パネルを選択します。**

［特別処理］パネルが表示されます。

3 **［印刷ジョブの進行状況を表示する］にチェックマークを付けます。**

4 **［プリント］をクリックして印刷を実行します。**

印刷の進行状況が表示されます。

印刷終了時にメッセージを表示する

印刷終了時にメッセージを表示して、印刷の終了をお知らせすることができます。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログで、［特別処理］パネルを選択します。**

［特別処理］パネルが表示されます。

3 **［印刷終了の通知方法］の［ダイアログを表示する］にチェックマークを付けます。**

4 ［プリント］をクリックして印刷を実行したあと、以下の通知が表示されたら、［OK］をクリックします。

5
CHAPTER

印刷品質の設定

印刷品質の設定手順について説明しています。

カラー印刷する

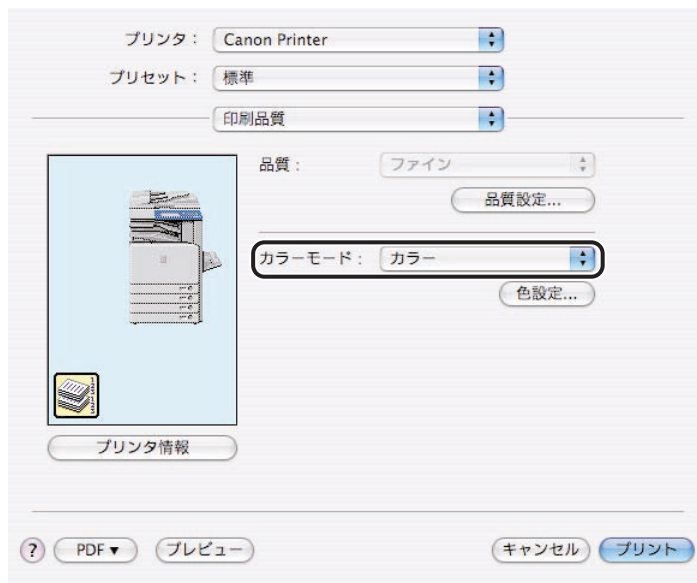
次の手順で、原稿をカラー印刷します。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログで、［印刷品質］パネルを選択します。**

［印刷品質］パネルが表示されます。

3 **［カラーモード］で、［カラー］を選択します。**

メモ　グレースケールで印刷する場合は、［モノクロ］を選択します。

4 **［プリント］をクリックします。**

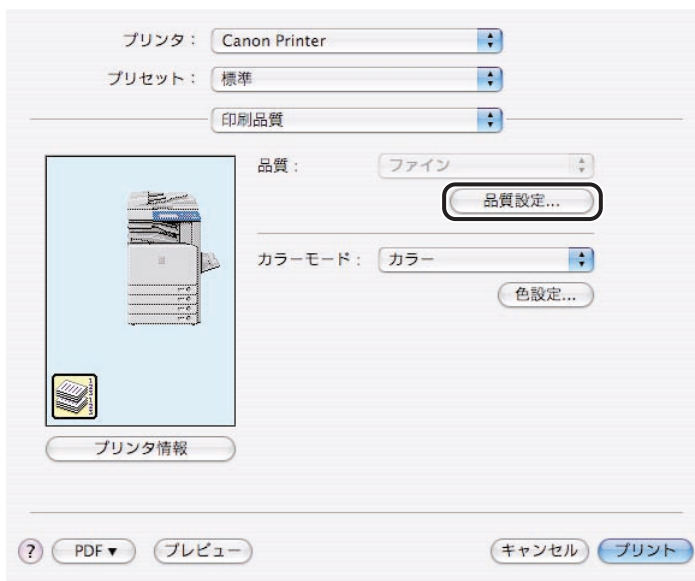
カラー／モノクロ中間調を設定する

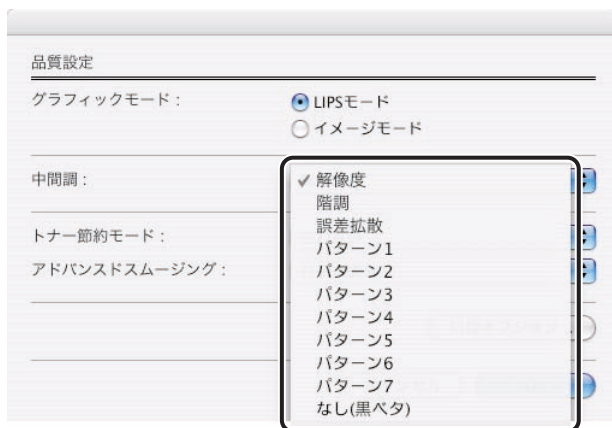
カラーの原稿を印刷するときの、中間調の表現方法を設定できます。また、カラー原稿をモノクロプリンタで、またはカラープリンタのモノクロモードで印刷するときのモノクロによる中間調の表現も設定します。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログで［印刷品質］を選択して、［印刷品質］パネルを表示します。**

3 **［品質設定］をクリックします。**

［品質設定］ダイアログが表示されます。

4 ［中間調］、［カラー中間調］、または［モノクロ中間調］で原稿に適した中間調を選択したあと、［OK］をクリックします。

［中間調］、［カラー中間調］、［モノクロ中間調］のいずれかが設定できます。設定できる項目は、お使いの機種によって異なります。

● カラー印刷の場合

iPR シリーズおよびカラー iR シリーズの場合：
［中間調］を設定します。

［解像度］	写真イメージなどを多用しているデータを美しく印刷します。
［誤差拡散］	階調表現に優れたディザパターンを使って印刷します。CAD などで細い線を多用している原稿の印刷に適しています。
［階調］	グラフィックやCGでグラデーションを多用しているデータなどを美しく印刷します。
［パターン 1 〜 7］	テキスト、グラフィックス、イメージのデータに対してそれぞれ別のディザパターンを使用します。組み合わせは以下のとおりです。 パターン 1： テキスト = 誤差拡散、グラフィックス = 誤差拡散、イメージ = 解像度 パターン 2： テキスト = 誤差拡散、グラフィックス = 誤差拡散、イメージ = 階調 パターン 3： テキスト = 誤差拡散、グラフィックス = 解像度、イメージ = 解像度 パターン 4： テキスト = 誤差拡散、グラフィックス = 階調、イメージ = 階調 パターン 5： テキスト = 解像度、グラフィックス = 解像度、イメージ = 階調 パターン 6： テキスト = 解像度、グラフィックス = 階調、イメージ = 階調 パターン 7： テキスト = 誤差拡散、グラフィックス = 解像度、イメージ = 階調

カラー LBP シリーズの場合：
LBP5910/5910M では［中間調］、それ以外の機種では［カラー中間調］を設定します。

［解像度］	解像度を優先して中間調を表現します。一般的な文字や写真イメージなど、ほとんどの原稿に適しています。
［高解像度］	高解像度を優先して中間調を表現します。小さい文字や細い線を使用している原稿に適しています。
［階調］	階調を優先して中間調を表現します。グラフィックでグラデーションを使用している原稿に適しています。
［色調］	色調を優先して中間調を表現します。写真、イメージなどの原稿を複数枚印刷する場合、色みの違いが目立たなくなります。
［誤差拡散］	階調表現に優れたディザパターンを使って印刷します。CAD などで細い線を多用している原稿の印刷に適しています。
［パターン 1 ～ 9］	テキスト、グラフィックス、イメージのデータに対してそれぞれ別のディザパターンを使用します。組み合わせは以下のとおりです。 パターン1： テキスト = 解像度、グラフィックス = 階調、イメージ = 階調 パターン2： テキスト = 解像度、グラフィックス = 解像度、イメージ = 階調 パターン3： テキスト = 解像度、グラフィックス = 色調、イメージ = 色調 パターン4： テキスト = 解像度、グラフィックス = 解像度、イメージ = 色調 パターン5： テキスト = 高解像度、グラフィックス = 階調、イメージ = 階調 パターン6： テキスト = 高解像度、グラフィックス = 高解像度、イメージ = 階調 パターン7： テキスト = 高解像度、グラフィックス = 高解像度、イメージ = 色調 パターン8： テキスト = 解像度、グラフィックス = 色調、イメージ = 階調 パターン9： テキスト = 高解像度、グラフィックス = 解像度、イメージ = 階調

● モノクロ印刷の場合

iPR シリーズおよびカラー iR シリーズの場合：
［中間調］を設定します。設定項目は、カラー印刷の場合と同じです。

LBP5910/5910M の場合：
［中間調］を設定します。

［解像度］	解像度を優先して中間調を表現します。一般的な文字や写真イメージなど、ほとんどの原稿に適しています。
［高解像度］	高解像度を優先して中間調を表現します。小さい文字や細い線を使用している原稿に適しています。
［階調］	階調を優先して中間調を表現します。グラフィックでグラデーションを使用している原稿に適しています。
［色調］	色調を優先して中間調を表現します。写真、イメージなどの原稿を複数枚印刷する場合、色みの違いが目立たなくなります。
［誤差拡散］	階調表現に優れたディザパターンを使って印刷します。CAD などで細い線を多用している原稿の印刷に適しています。
［パターン 1 ～ 9］	テキスト、グラフィックス、イメージのデータに対してそれぞれ別のディザパターンを使用します。組み合わせは以下のとおりです。 パターン 1： テキスト = 解像度、グラフィックス = 階調、イメージ = 階調 パターン 2： テキスト = 解像度、グラフィックス = 解像度、イメージ = 階調 パターン 3： テキスト = 解像度、グラフィックス = 色調、イメージ = 色調 パターン 4： テキスト = 解像度、グラフィックス = 解像度、イメージ = 色調 パターン 5： テキスト = 高解像度、グラフィックス = 階調、イメージ = 階調 パターン 6： テキスト = 高解像度、グラフィックス = 高解像度、イメージ = 階調 パターン 7： テキスト = 高解像度、グラフィックス = 高解像度、イメージ = 色調 パターン 8： テキスト = 解像度、グラフィックス = 色調、イメージ = 階調 パターン 9： テキスト = 高解像度、グラフィックス = 解像度、イメージ = 階調
［なし（黒ベタ）］	中間調の色を使用せずに、白以外のデータをすべて黒で印刷します。

LBP5910/5910M 以外のカラー LBP シリーズの場合：
［モノクロ中間調］を設定します。

［解像度］	解像度を優先して中間調を表現します。一般的な文字や写真イメージなど、ほとんどの原稿に適しています。
［高解像度］	高解像度を優先して中間調を表現します。小さい文字や細い線を使用している原稿に適しています。
［階調］	階調を優先して中間調を表現します。グラフィックでグラデーションを使用している原稿に適しています。
［色調］	色調を優先して中間調を表現します。写真、イメージなどの原稿を複数枚印刷する場合、色みの違いが目立たなくなります。
［パターン 1 ～ 3］	テキスト、グラフィックス、イメージのデータに対してそれぞれ別のディザパターンを使用します。組み合わせは以下のとおりです。 パターン1：テキスト = 解像度、グラフィックス = 階調、イメージ = 色調 パターン2：テキスト = 解像度、グラフィックス = 色調、イメージ = 色調 パターン3：テキスト = 高解像度、グラフィックス = 解像度、イメージ = 階調
［なし（黒ベタ）］	中間調の色を使用せずに、白以外のデータをすべて黒で印刷します。

モノクロ iR シリーズ、モノクロ LBP シリーズの場合：
［中間調］を設定します。

［パターン 1］	文字、図形・表・グラフ、写真画像のそれぞれに対して、最適なハーフトーン処理で印刷します。文字、図形やグラフ、写真画像の混在する原稿を美しく印刷するのに適しています。
［パターン 2］	グレーの文字や色の付いた文字はシャープに、写真画像や図形にはコントラストを効かせた画質で印刷します。比較的安定した、むらの少ない印字結果が得られます。
［パターン 3］	文字、図形・表・グラフ、写真画像のそれぞれについて、ハーフトーンの濃さを合わせて印刷します。
［パターン 4］	文字や細い線を多用している原稿に対して、最適なハーフトーン処理で印刷します。色の付いた文字や CAD などの原稿をシャープに印刷するのに適しています。
［パターン 5］	文字、図形・表・グラフ、写真画像のそれぞれについて、コントラストを効かせた画質で印刷します。
［なし（黒ベタ）］	中間調の色を使用せずに、白以外のデータをすべて黒で印刷します。

［処理オプション］をクリックして、以下の項目を設定することもできます。

- ［グレー補償］：
  黒や灰色の原稿部分に対してブラック以外を使用せずに印刷します。黒い罫線を多く使うグラフィックなどで、はっきりしたきれいな印刷結果が得られます。モノクロ印刷の場合は選択できません。

5 ［プリント］をクリックします。

印刷品質を設定する

写真を含む原稿などは、階調や品質を設定することによって、よりきれいに印刷できます。

重要　複数の解像度に対応したプリンタをお使いの場合に、本機能を使用できます。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログで、［印刷品質］パネルを選択します。**

［印刷品質］パネルが表示されます。

3 **［印刷品質］パネルで、印刷品質（解像度）の設定を行います。**

5

印刷品質の設定

以下の項目を設定できます。

［スーパーファイン］	1200dpi で高品質な印刷ができます。写真やグラデーションを含む原稿の印刷に適しています。
［ファイン］	600dpi で高品質な印刷ができます。
［クイック］	300dpi で高速に印刷することができます。

メモ　お使いの機種によって、選択できる項目は異なります。

4 さらに詳細な設定を行うには、［品質設定］をクリックして、［品質設定］ダイアログを表示します。設定したあと、［OK］をクリックします。

［品質設定］ダイアログで、［階調］など印刷品質に関する項目を設定できます。お使いの機種によって、設定できる項目は異なります。

5 ［プリント］をクリックします。

色の詳細設定を行う

［印刷品質］パネルの［色設定］をクリックすると、［色設定］ダイアログが表示され、［色調整］シートや［マッチング］シートで、色の詳細な設定や補正を行うことができます。

色の詳細な設定を行う

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログで、［印刷品質］パネルを選択します。**

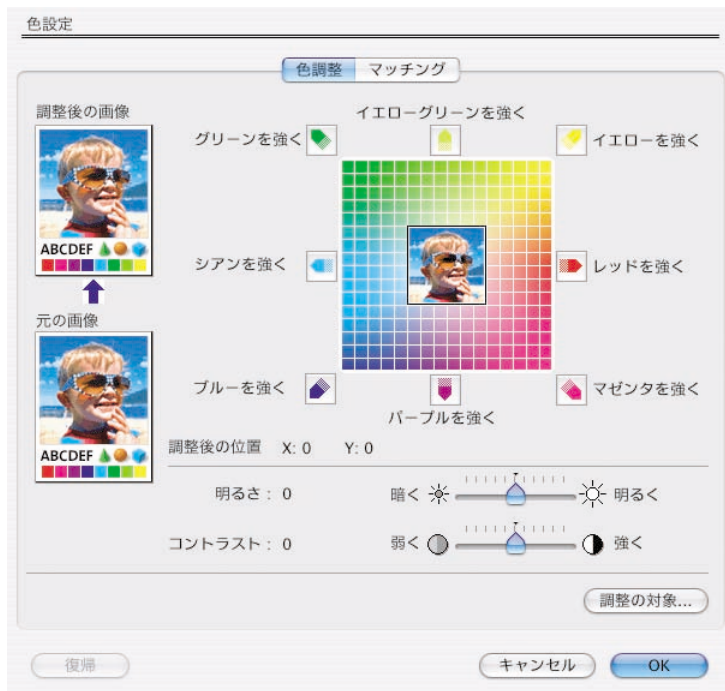
［印刷品質］パネルが表示されます。

3 **［色設定］をクリックします。**

［色設定］ダイアログが表示されます。

5

印刷品質の設定

4 ［色設定］ダイアログで、カラー／モノクロの調整を行います。

メモ

［色設定］ダイアログの設定については、「［色調整］と［マッチング］シートについて」（→ P.5-13）を参照してください。

5 ［色設定］ダイアログの［OK］をクリックします。

6 ［プリント］ダイアログの［OK］をクリックします。

［色調整］と［マッチング］シートについて

色の調整方法は、大きく次のように分けられます。

メモ　明るさ、コントラストは、マッチングとガンマ補正を行ったあと、さらに微調整をするときにお使いください。

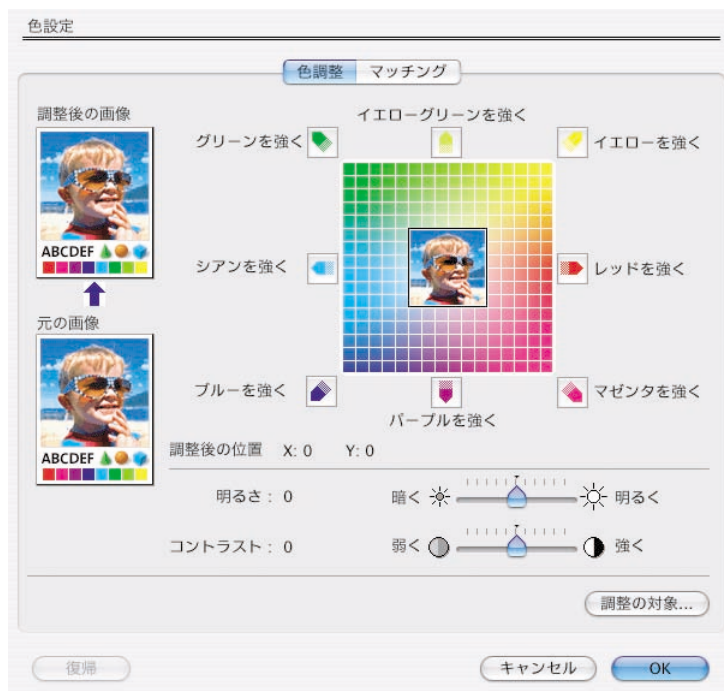
■［色調整］シートの設定項目

明るさ、コントラスト、色み、鮮やかさは、「さらに細かい色の調整」のための設定です。

■［マッチング］シートの設定項目

マッチング、ガンマ補正は、「画面表示と印刷の仕上がりの色を一致させる」ための設定です。

［色調整］シートでの設定

［色調整］シートについて説明しています。

■ 明度とコントラストの調整

［明るさ］／［コントラスト］のスライダバーで色の明るさとコントラスト（明暗差）を設定できます（中央の画像は現在の設定での印刷プレビューです）。

メモ　コントラストを強くすると、暗い部分と明るい部分の差が大きくなり、シャープな画像になります。逆に、コントラストを弱くすると暗い部分と明るい部分の差が小さくなります。

■ 色みの調整（カラープリンタのみ）

ダイアログのまわりに表示されている 8 つのアイコンをクリックすると、色みを設定できます（中央の画像は現在の設定での印刷プレビューです）。

例えば、空の写真の原稿を、ブルーを強調して印刷したいときは、［ブルーを強く］のアイコンを青色方向に設定します。

［マッチング］シートでの設定

［マッチング］シートについて説明しています。

■［マッチングモード］

マッチングの方法を選択します。

［ドライバ補正モード］	ドライバ（コンピュータ）側で色の処理を行います。
［プリンタ補正モード］	プリンタ側で色の処理を行います。ドライバ側と同じデフォルトで用意されているプロファイルに加えて、プリンタにダウンロードしたプロファイルも使用できます。（カラープリンタで LIPS モード使用時のみ）
［ガンマ補正（ホスト側／プリンタ側）］	ガンマ補正を設定する場合は、本項目を選択して、［ガンマ補正］でガンマ補正値を設定してください。

■ [マッチング方法]

色みに関してのマッチング方法を設定できます。[マッチングモード]で[ドライバ補正モード]または[プリンタ補正モード]を選択したときに設定できます。

■ [モニタ・スキャナの設定]

モニタやスキャナのマッチング用プロファイルを選択します。[マッチングモード]で[ドライバ補正モード]または[プリンタ補正モード]を選択したときに設定できます。

■ [ガンマ補正]

ガンマ補正値の設定を行います。[マッチングモード]で[ガンマ補正(ホスト側/プリンタ側)]を選択したときに設定できます。

メモ　ガンマ補正を設定すると、原稿中の最も明るい部分や最も暗い部分を損なわないように、印刷結果の明るさを調節できます。出力した結果が元の画像に比べて明るいときや、明るさを変えて出力したいときなどにお使いください。設定数値が大きいほど暗く印刷されます。[ガンマ補正]を[1.0]に設定した場合、印刷結果は画面表示よりも明るくなります。これは、多くのモニタの本来のガンマ値が、1.4 〜 1.8 程度であるためです。

6
CHAPTER

困ったときには

LIPS LX プリンタドライバの使用中に生じたトラブルへの対処方法について説明しています。

トラブルの対処法

LIPS LX プリンタドライバを使用したときのトラブルへの対処方法について説明します。

印刷してもプリンタのデータランプがつかない

原因 1 プリンタと Macintosh が正しく接続されていない。

処　置 プリンタと Macintosh を正しく接続してください。

原因 2 プリンタの電源がオンになっていない。

処　置 プリンタの電源をオンにしてください。

原因 3 プリンタの［オンライン］が点灯していない。

処　置 ［オンライン］を押して、［オンライン］を点灯させてください。

プリントセンター／プリンタ設定ユーティリティにプリンタ名が表示されない

原因 1 プリンタと Macintosh が正しく接続されていない。

処　置 プリンタと Macintosh を正しく接続してください。

原因 2 プリンタの電源がオンになっていない。

処　置 プリンタの電源をオンにしてください。

原因 3 プリンタドライバが正しくインストールされていない。

処　置 プリンタドライバを再度インストールしてください。

プリンタの種類が「Generic」と表示され、機能の一部が使用できない

原因 1 プリンタと Macintosh が正しく接続されていない。

処　置 プリンタと Macintosh を正しく接続してください。

原因 2 プリンタの電源がオンになっていない。

処　置 プリンタの電源をオンにしてください。

原因 3 プリンタドライバが正しくインストールされていない。

処　置 プリンタドライバを再度インストールしてください。

原因 4 プリントセンター／プリンタ設定ユーティリティでプリンタを追加するときに、種類が［LIPSLX Printer］でないプリンタを選択した。

処　置 プリントセンター／プリンタ設定ユーティリティで、種類が［LIPSLX　Printer］と表示されているプリンタを印刷先として選択しなおしてください。（→使用するプリンタをコンピュータに登録する：P.2-11）

いつまでたっても出力されない

原因 1 カラー写真のようにファイルサイズが大きいデータが原稿に貼り付けられており、印刷に時間がかかっている。

処　置 データランプがついているときは、しばらくお待ちください。

原因 2 カラー写真のようにファイルサイズが大きいデータが原稿に貼り付けられており、メモリ不足が原因で印刷に時間がかかっている。

処　置 メモリを増設してください。メモリを増設しない場合は、［印刷品質］パネルの［品質］で、解像度を落としてください。（スーパーファイン→ファイン、ファイン→クイック）

印刷結果の端が欠けてしまう

原因 1 アプリケーションソフトウェア上の原稿のサイズとプリンタに出力する用紙のサイズ（出力サイズ）が異なっている。

処　置 ［ページ設定］（または［用紙設定］）ダイアログの［拡大縮小］で、縮小方向に倍率を設定してください。

原因 2 アプリケーションソフトウェアの余白の設定が、本プリンタの印刷できる範囲を超えている。

処　置 余白を設定しなおしてください。

7

CHAPTER

付録

参考となる情報について説明しています。

索引

英数字

あ

か

さ

7
付録

た

な

は

ま

や

わ